

Sibelius for mobile

iPad & iPhone

日本語ガイド

2022.5改訂版

ご利用にあたつて

このガイドの著作権は Avid Technology, Inc.(以下「Avid」)に帰属します。

©2022 Avid Technology, Inc. Avid の書面による同意なくして、本書の一部または全部を複製することは著作権法により禁じられています。

For a current and complete list of Avid trademarks visit: www.avid.com/legal/trademarks-and-other-notices

Bonjour, the Bonjour logo, and the Bonjour symbol are trademarks of Apple Computer, Inc.

Thunderbolt and the Thunderbolt logo are trademarks of Intel Corporation in the U.S. and/or other countries.

This product may be protected by one or more U.S. and non-U.S. patents. Details are available at www.avid.com/patents.

Product features, specifications, system requirements, and availability are subject to change without notice.

Guide Part Number 9329-66393-01 REV B 05/22

目次

Sibelius for mobileの紹介	1
Avidマスター・アカウント	2
リソース	3
iPadまたはiPhoneでSibeliusを表示する	4
ドキュメントビュー	4
スコアビュー	6
スコアビューでのページの移動とズーム	8
パノラマビュー	9
スコアを開く、作成する	10
スコアを開く、保存、終了	10
スコアの作成	10
Sibeliusファイルの操作	13
ファイルの管理	13
スコアのロックとロック解除	15
Avidマスター・アカウントにログインまたはアプリ内で購入	16
タッチ・ジェスチャ	20
キーボードとマウスを使用する	22
キーボード・ショートカット	22
取り消す、やり直す	26
スコアビューの取り消すボタン	26
取り消すとやり直すの機能のためのタッチ・ジェスチャ	27
選択をする	28
オブジェクトとメッセージの選択	28
選択をする	28
選択された箇所の色	30
選択したアイテムの移動	30
選択範囲の切り取り、コピー、貼り付け	30
変則的な小節	32

Sibelius キーパッド	34
キーパッド・ウィンドウ	34
キーパッドを使用した音符入力と編集	37
キーパッドを使用しないApple Pencilでの音符入力（iPad）	42
パーカッション譜表における音符入力と編集ジェスチャ	43
ピッチ補正ツール・ジェスチャを使用したパーカッションの音符の編集	44
音符マッピングのないパーカッション譜表	44
Apple Pencilを使用したパーカッション音符入力	44
MIDIを使用して音符を入力する	46
Bluetooth MIDI デバイスの設定	46
Bluetooth MIDI デバイス・リストを管理する	47
USBまたはBluetooth MIDI デバイスを使用するステップタイムMIDI入力	48
作成メニュー・ギャラリー	49
ラインギャラリー	52
記号ギャラリー	52
テキストギャラリー	52
楽器ギャラリー	56
コマンド検索	58
移調	59
スコアの再生	62
再生ライン	63
コメント	64
「付箋」コメント	64
テキスト（スタイル）・コメント	66
ドキュメントの設定とプリント	67
スコアのプリント	67
PDFにエクスポート	67
ドキュメントの設定	69
スコアとパート譜	71
バージョンの比較	74

Sibelius for mobileの紹介

Avid®のSibelius® 楽譜作成ソフトを紹介します。Sibeliusを使用すると、美しい楽譜、パート、チャート、リードシート、ソングブックなど、あらゆるジャンルのあらゆるスタイルのあらゆる種類の楽譜を作成できます。オーケストラ・スコア、ジャズ・コード譜、ギター・タブ、音楽教育用のワークシートなどを作成する場合でも、Sibeliusを使用すると、プロフェッショナルな楽譜をすばやく簡単に作成できます。

SibeliusソフトウェアはmacOSまたはWindowsで実行され、Sibelius for mobileアプリはiPadまたはiPhoneで実行できます。Sibeliusスコア (.sibファイル) をすべてのプラットフォーム間で共有できます。これにより、デスクトップやラップトップ・コンピューターを使ってスタジオで、またはiPadやiPhoneを使って外出先でスコアを操作できます。Sibeliusファイルをクラウド・ストレージ (iCloudなど) に保存すると、iPadやiPhone内のSibeliusと連携してデスクトップまたはラップトップ・コンピューターのSibeliusで作業できます。現在、macOSまたはWindowsのSibeliusソフトウェアの各バージョンで利用できるすべての機能がiPadまたはiPhoneのSibelius for mobileアプリで利用できるわけではないことに注意してください ([バージョンの比較](#)を参照)。また、このガイド内で説明がありますが、iPadとiPhoneにおいて、小さな違いがいくつかあります。

Sibeliusソフトウェア製品には、初心者からプロフェッショナルに対応する、3つのバージョンがあります：Sibelius First（初心者に最適）、Sibelius Artist（学生や熟練したアマチュアに最適）、Sibelius Ultimate（プロフェッショナルの必需品）。また、読みやすいように、「Sibelius」は通常、次の3つのバージョンすべてを指します（Sibelius First、Sibelius Artist、およびSibelius Ultimate）。Sibeliusのすべての機能と操作の詳細については、[Sibeliusリファレンス・ガイド.pdf](#)をご参照ください。このガイドでは、iPadとiPhoneでのSibelius for mobileの使用について具体的に説明します。

開始するには、Apple App Storeから無料でiPadまたはiPhoneにSibelius for mobileアプリをダウンロードしてインストールします。デスクトップまたはラップトップ・コンピューター用のSibelius Artist もしくはSibelius Ultimateソフトウェアを既にお持ちの場合は、インストールが完了したら、Avidマスター・アカウントにログインして、機能のロックを解除します。もしくはAppleユーザーIDを使用してiPadまたはiPhone上でサブスクリプションをアップグレードし、機能のロックを解除することもできます。

Avidマスター・アカウント

Avidマスター・アカウント（my.avid.com）を使用すると、すべてのAvid製品、サブスクリプション、権利を登録および管理できます。また、Avidマスター・アカウントから、利用可能なソフトウェア、ドキュメントなどをダウンロードすることもできます。

サインアップするには、avid.comにアクセスし、右上の【サインイン】をクリックして、【Create a new account (Avidマスター・アカウントの作成)】の下にある必須フィールドを入力し、アカウントを作成します。すでにアカウントをお持ちの場合は【サインイン】の下にある必須フィールドを入力し、ログインします。

Avidマスター・アカウントは、いくつかのセクションに分かれています。Avidサポートセンター、ダウンロードセンター、およびAvidコミュニティは、リンクする必要があることに注意してください。

現在Sibelius ArtistまたはSibelius Ultimateの永続ライセンス、もしくはサブスクリプション・ライセンスをお持ちの場合は、iPadまたはiPhoneでSibeliusにログインし、機能のロックを解除できます。これらの機能は、ソフトウェア・アップデートとサポートプラン（永続ライセンスをお持ちの場合）または、サブスクリプションに含まれ、追加費用はかかりません。詳細については、[Avidマスター・アカウントでログインまたはアプリ内の購入](#)をご参照ください。

リソース

Avid Webサイト (www.avid.com/sibelius) は、Sibeliusを最大限に活用するための情報を提供しています。

アカウントのアクティベーションと製品登録

Avidアカウントで製品をダウンロードし、アクティベートします（もしくは、アカウントがない場合は簡単にアカウントを作成できます）。オンラインで購入した製品を登録し、ソフトウェア、アップデート、ドキュメント、およびその他のリソースをダウンロードします。

www.avid.com/account

サポートとダウンロード

Avidカスタマー・サクセス（テクニカルサポート）への連絡や、ソフトウェア・アップデートと最新のオンライン・マニュアルをダウンロード、互換性ドキュメントでシステム要件を参照、オンライン・ナレッジベースを検索、ユーザー・カンファレンスで世界中のAvidユーザー・コミュニティに参加することができます。

www.avid.com/support

トレーニングと教育

オンラインで利用できるコースを受講して自分で勉強したり、Avid認定トレーニングセンターの教室で学習する方法を見つけたり、ビデオチュートリアルやウェビナーを表示したりできます。

www.avid.com/education

製品と開発者

Avid製品について学習したり、macOSまたはWindows用のデモ・ソフトウェアをダウンロードしたり、開発パートナーとそのプラグイン、アプリケーション、およびハードウェアについて学習したりできます。

www.avid.com/products

ビデオチュートリアル

オンラインのSibeliusチュートリアルビデオを確認して、Sibeliusをすぐに使い始めましょう：

[SibeliusとSibelius for mobileのチュートリアルビデオ](#)

iPadまたはiPhoneでSibeliusを表示する

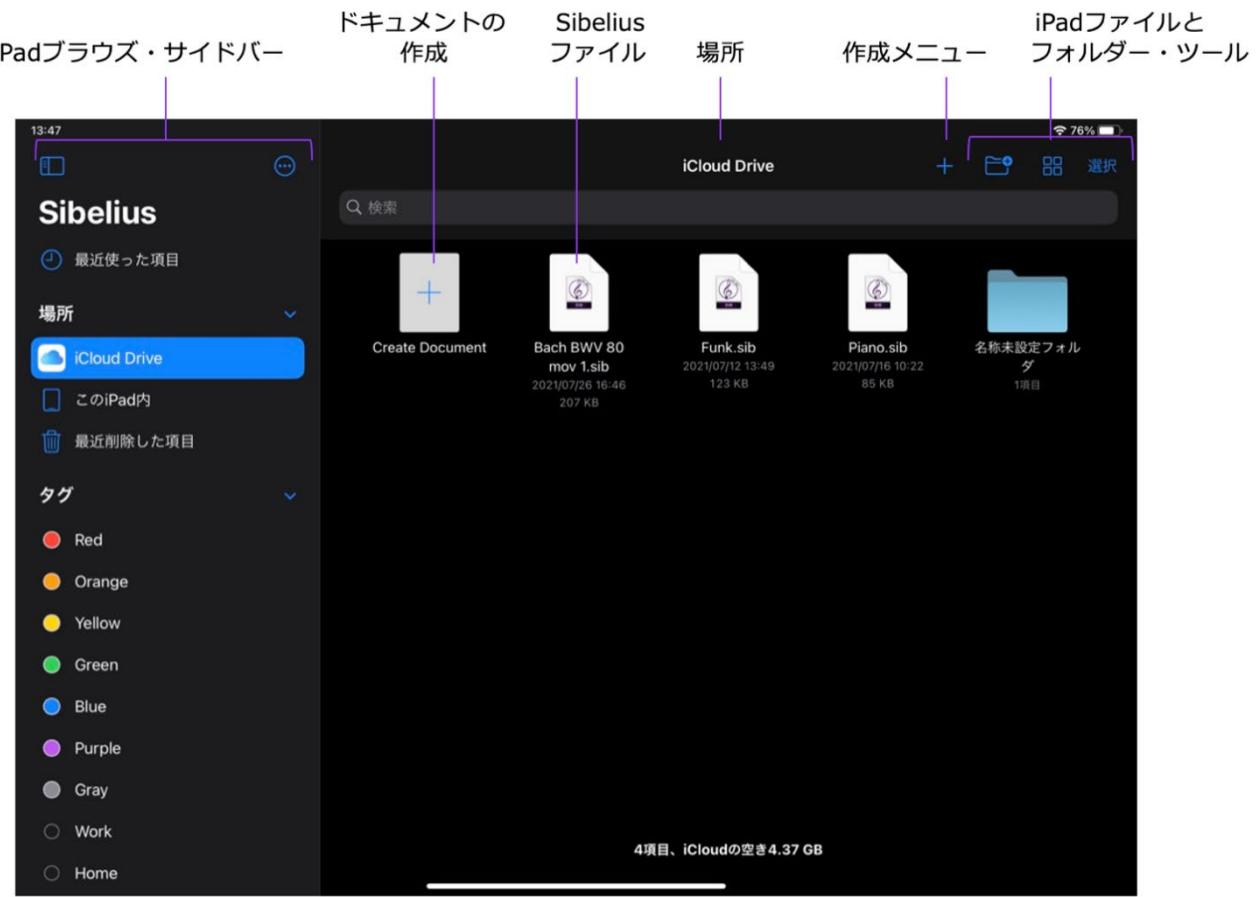
Sibelius for mobileには、ドキュメントビューとスコアビューの2つの主要なビューがあります。ドキュメントビューでは、Sibeliusファイル (.sib) を管理して開いたり、新しいSibeliusスコアを作成したりできます。スコアビューでは、スコアを編集、再生、印刷、および表示できます。



ライトモード/ダークモード Sibelius for mobileアプリは、iPadまたはiPhone内の【設定】アプリから変更できるディスプレイと明るさの設定に応じて自動的に外観を表示します。

ドキュメントビュー

Sibelius for mobileアプリをiPadで初めて起動すると、ドキュメントビューが表示されます。2回目以降、スコアビューでアプリを終了した場合は、次にアプリを起動したときに、スコアビューで最後に開いたスコアが開きます。ドキュメントビューでは、iPadまたはiPhoneでSibeliusファイル (.sib) を管理したり開いたり、新しいSibeliusスコアを作成できる、iOSファイルシステムを操作できます。一般的なiPadファイル管理機能はすべてドキュメントビューで利用できます。場所 (iCloud Drive、このiPad内、このiPhone内、その他のクラウドアプリなど) をナビゲートしたり、タグを使用したり、フォルダを作成したりすることができます。ファイルまたはフォルダを選択すると、コピー、複製、移動、削除、共有などの一般的なファイルおよびフォルダ管理タスクを使用できます。さらに、このビューの検索バー下の左上隅には常に【ドキュメントの作成】アイコンが表示されています。このアイコン、もしくは画面右上隅の+マークをタップすると、新しいスコア (.sibファイル) を作成したり、サンプルスコアを選択したりできる【譜面用紙を選択する】ビューが開きます。



iPad ドキュメントビュー

ドキュメントビューの機能は、iPadやiPhoneのファイルアプリと非常によく似ています。このiPad内、このiPhone内、クラウドベース（iCloudなど）の場所とフォルダにナビゲートすることができ、Sibeliusファイルを開いて作成し、ファイルとフォルダを管理することもできます（[Sibeliusファイルの操作](#)を参照）。

スコアビュー

ドキュメントビューでSibeliusファイルをタップして、スコアビューで開きます。 もしくは、iPadまたはiPhoneファイルアプリでSibeliusファイルをタップすると、Sibelius for mobileアプリが起動し、スコアビューでそのファイルが表示されます。前回アプリを終了した際にスコアを開いていた場合、次にアプリを起動すると、スコアビューでそのスコアが開きます。スコアビューでは、スコアの再生、編集、確認、印刷のほか、アカウントとSibeliusライセンスへのログインと管理を行うことができます。



スコアビュー

スコアビューには、ウィンドウの上部に、左から次のコントロールがあります：

◀ **戻る** タップしてドキュメントビューに戻ります。長押し、もしくは変更を加えた場合にタップすると、【保存】、【保存して閉じる】、【保存せずに閉じる】のメニューが表示されます。また、【戻る】ボタンの色の濃度によって、スコアに未保存の変更があるかどうか確認できます。（濃い色=すべての変更が保存された状態、薄い色=変更が未保存の状態）

▶ **再生/停止** タップして、スコアの再生を開始または停止します。

⌚ **取り消す** タップして、最後に行った操作を元に戻します。長押しすると、最後に行った操作を【取り消す】と、最後に取り消された操作を【やり直す】が選べるメニューが表示されます。

※注：取り消す機能がデスクトップ用Sibeliusでは【元に戻す】と表示され、iPadとiPhoneでは【取り消す】と表示されますが、両方とも同じ機能を指します。同じく、やり直す機能がデスクトップ用Sibeliusでは【繰り返し】と表示され、iPadとiPhoneでは【やり直す】と表示されますが、両方とも同じ機能を指します。このガイドではiPadとiPhoneでの表記を優先しています。

タイトルバー スコアのファイル名を表示します。スコアを保存すると、ファイル名は太字になります。保存されていない変更が行われるとすぐに、ファイル名が太字ではなくなります。

✚ **作成メニュー** タップして、表記、ライン、記号、テキスト、および楽器のギャラリーにアクセスします。

🔍 **コマンド検索** コマンド検索フィールドをタップし、1つ以上のキーワードを入力すると、一致するコマンドのリストが表示されます。【外観】や【レイアウト】など、カテゴリ別にリストされているコマンドもあります。お持ちのSibeliusのバージョンによって、サポートされていないコマンドはグレーで表示されます。また、現在iPadまたはiPhoneでサポートされていないコマンドは表示されません。

⋯ **詳細** タップして、【機能のロックを解除する/サブスクリプションの管理】、【印刷】、【ドキュメントの設定】、【スコア/パート譜】、および【Bluetooth MIDIデバイス】オプションにアクセスします。また、アプリ内で動画を交えたSibelius for mobileの使い方の説明を見られる【はじめに】や、オンラインPDFドキュメントの【Sibeliusリファレンス・ガイド】にアクセスすることもできます。

🔒 **ロック/ロック解除** タップしてスコアをロックまたはロック解除します。ロックを解除すると、スコアを編集できます。ロックされている場合、スコアの表示、再生、および印刷のみが可能です。サポートされているよりも多くの譜表がある場合、例えばSibeliusの上位バージョン（Sibelius Ultimateなど）で作成されたスコアをSibeliusの下位バージョン（Sibelius Firstなど）で開く場合、スコアはロックされた状態で開かれ、ロックを解除できません。

スコアビューでのページの移動とズーム

スコアビューでは、タッチ・ジェスチャを使用して、スコアのページを移動、ズームインおよびズームアウトできます（[タッチ・ジェスチャ](#)を参照）。

スコアビューでページを移動するには：

- 1本の指（またはApple Pencil）で、スコアの空白部分に触れて、任意の方向にドラッグします。

スコア内のオブジェクトに触ると、そのオブジェクトが選択され、ドラッグすると選択したオブジェクトが移動することに注意してください。

スコアビューでページをズームインするには：

- 2本の指で画面に触れてから、そのまま指の間隔を広げます。

スコアビューでページをズームアウトするには：

- 2本の指で画面に触れてから、そのまま指の間隔を狭めます。

ズーム中にページを移動するには：

- ズームインまたはズームアウトのジェスチャを使用しながら、任意の方向にドラッグします。

パノラマビュー

パノラマビューは、デフォルトのページビューからスコアを表示する別の方法です。画面にページ単位で配置する代わりに、スコアを水平方向にスクロールする1つの譜表として表示できます。パノラマビューでは、ページ・レイアウトを気にせずに、音符の入力と編集に集中できます。

パノラマビュー

パノラマビューのオンとオフを切り替えるには：

- スコアビューで、コマンド検索アイコンをタップします（[コマンド検索](#)を参照）。
- 次のいずれかを実行します：
 - オンスクリーン・キーボードまたは外部キーボードを使用して、「パノラマ」と入力します。
 - カテゴリ・タブ上で左にスワイプして[表示]カテゴリをタップして選択します。
- [パノラマ]コマンド（[表示]カテゴリ内）をタップします。

表示方法がページごとからパノラマに（またはパノラマからページごとに）変更されます。

外部キーボードを使用して、Shift + P を押して、パノラマビューとページビューを切り替えることもできます。

スコアを開く、作成する

スコアを開く、保存、終了

Sibeliusファイルは、ファイルアプリを使用して開くか、ドキュメントビューからSibelius for mobileアプリで開くことができます。スコアビューでファイルを開くと、ファイルを保存して開いたままにすることができます。スコアビューでファイルを閉じると、ドキュメントビューに戻ります。

スコアを開くには、次のいずれかを実行します：

- このiPad内、このiPhone内または使用しているクラウドストレージ・サービス（iCloud、OneDrive、DropBoxなど）のファイルに移動します。開きたいSibeliusファイル（.sib）を見つけたら、タップして開き、Sibelius for mobileアプリを起動します。
- Sibeliusアプリがすでに実行されている場合は、開きたいSibeliusファイルをドキュメントビューで見つけ、タップするとスコアビューで開きます。

開いているスコアを保存するには：

- スコアビューで、<（戻る）を長押しし、[保存]をタップします。

オープンスコアを閉じるには、次のいずれかを実行します：

- <（戻る）を長押しし、[保存して閉じる]をタップして、スコアを保存して閉じます。
- <（戻る）を長押しし、[保存せずに閉じる]をタップして、保存せずにスコアを閉じます。

スコアの作成

新しいスコアを作成するには：

1 ドキュメントビューで、次のいずれかを実行します：

- [ドキュメントの作成]アイコンをタップします。
- ドキュメントビューの右上にある[+]をタップします。

タップして、使用可能なオプションから譜面用紙を選択します（[譜面用紙とサンプルスコア・ギャラリー](#)を参照）。

新しいスコアがスコアビューで開かれると、楽器を変更、追加、または削除できます。

<（戻る）を長押しし、[保存]をタップしてスコアを保存します。

新しいスコアのSibeliusファイルは、ドキュメントの作成をタップした場所に、選択した譜面用紙の名前を使用

して作成されます。 ドキュメントビューで新しいスコアファイルの名前を変更できます（[ファイルの管理](#)を参照）。

譜面用紙とサンプルスコア・ギャラリー

新しいスコアを作成する際は、譜面用紙を選択する必要があります。ギャラリーの上部には、さまざまなジャンルやスタイルの表記法で作成されたサンプルスコアがあり、Sibeliusについて知ることができます。サンプルスコアの下には、共通、オーケストラ、バンドなど、カテゴリ別にスコア・テンプレートが並んでいます。これらは、さまざまなスタイル、ジャンル、楽器構成による空白のスコアです。新しいスコアを作成するときは、必要に応じてテンプレート（ピアノ、リードシート、合唱、ビッグバンド、弦楽オーケストラなど）を選択してください。

譜面用紙とサンプルスコア・ギャラリーをナビゲートするには：

- 上下にスワイプして、テンプレート・カテゴリをナビゲートします。
- 左右にスワイプして、各カテゴリをナビゲートします。
- 任意のスコアをタップして、特定のサンプルスコアまたは譜面用紙を開きます。
- [キャンセル] をタップすると、スコアの例や譜面用紙を開かずにドキュメントビューに戻ります。

キャンセル

譜面用紙を選択する

Sibelius サンプルスコア



Bach: BWV 80 mov 1



Giroux: Culloden III



Saint-Saens: Trio No. 2



Scriabin: Sonata No. 5



Sparke: Fanfare Occasion

共通



空白



高音部譜表



低音部譜表



ピアノソロ

オーケストラ



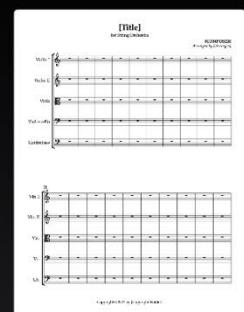
小編成オーケストラ（二管編成）



中編成オーケストラ（三管編成）



大編成オーケストラ（四管編成）



弦楽オーケストラ



フィルムオーケストラ

バンド



譜面用紙ギャラリー



Sibeliusファイルの操作

ファイルの管理

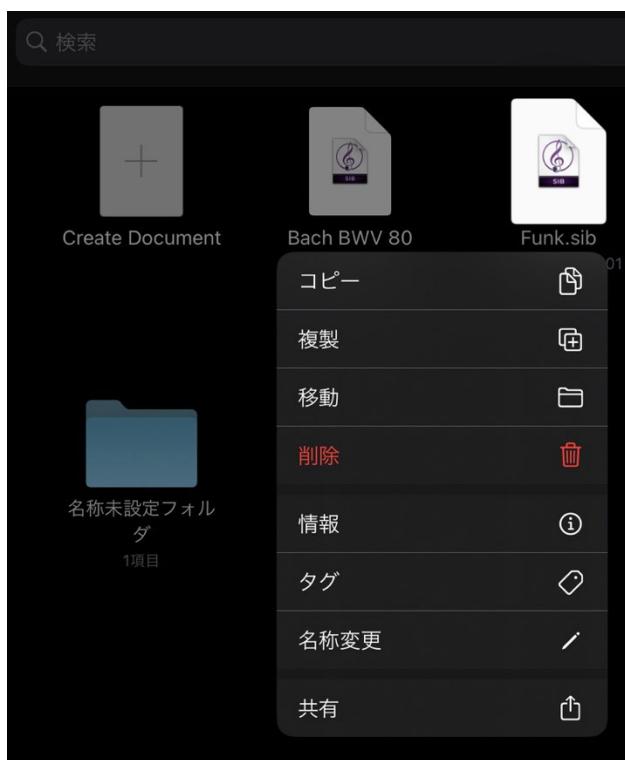
ドキュメントビューでは、Sibelius for mobileアプリはファイルアプリと同じファイル管理ツールの多くを使用しています。

ファイルメニュー

ファイルメニューを使用して、ファイルまたはフォルダのコピー、複製、移動、削除、情報の表示、タグの追加、名前の変更、および共有を行えます。

任意のファイルまたはフォルダのファイルメニューにアクセスするには：

- 1 ドキュメントビューで、管理したいファイルまたはフォルダを長押しします。
- 2 メニューから実行したいコマンド（名前の変更、削除、共有など）をタップします。
- 3 画面上の追加の指示に従って、選択したタスクを終了します。



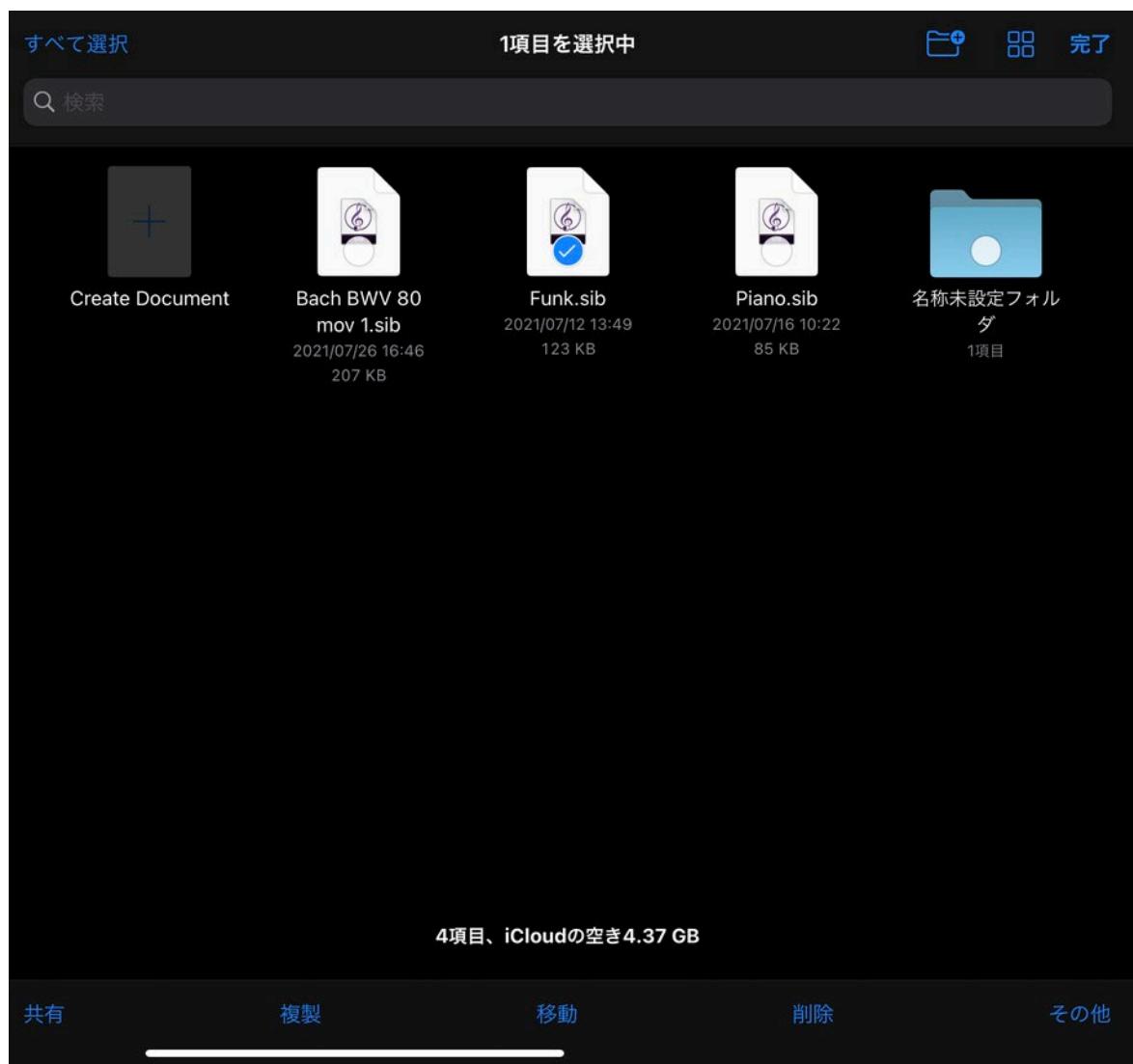
ファイルメニュー

選択したファイル・コマンド

ドキュメントビューの画面下部に表示されるいくつかのファイル管理コマンドから、選択したファイルとフォルダを管理できます：共有、複製、移動、削除、その他（新規フォルダ、コピー）。

選択したファイルとフォルダにコマンドを適用するには：

- 1 ドキュメントビューの画面右上隅にある【選択】をタップします。各ファイルとフォルダに丸印（選択マーク）が表示されます。
- 2 任意のファイルまたはフォルダ上の丸印をタップして選択します。
- 3 画面の下部にあるコマンドから、選択したファイルまたはフォルダに適用したいコマンドをタップします。
- 4 画面上の追加の指示に従って、選択したタスクを終了します。



選択されたファイル・コマンド

スコアのロックとロック解除

Sibeliusアプリでは、スコアをロックまたはロック解除して、編集を禁止または許可できます。スコアのロックが解除されると、スコアのすべての編集機能が使用可能になります。スコアがロックされている場合、編集することはできませんが、スコアを表示、再生、および印刷することはできます。非表示のオブジェクト、レイアウト・マーク、コメントは表示されないので、印刷時と同じようにスコアがきれいにすっきりと表示されます。さらに、【取り消す】、【作成】、および【コマンド検索】アイコンが非表示になり、残りのアイコンが単色になります。また、【詳細】メニュー内の【ドキュメント設定】オプションも使用できません。Sibelius for mobileのロックされたスコアは、macOSおよびWindowsでのSibeliusのレビュー モードに似ています。

 タッチ・ジェスチャを使用してスコアを動かす際に、誤ってオブジェクトを移動したり、譜表の間隔を変更したりしないように、一時的にロックすることをお勧めします。

スコアをロックまたはロック解除するには：

- スコアビューで、右上隅のロックアイコンをタップします。ロックまたはロック解除に応じて、アイコンが変わります。



ロック解除されたスコア（左）とロックされたスコア（右）

! サポートされているよりも多くの譜表がある場合（例えばSibeliusの上位バージョン（Sibelius Ultimateなど）で作成されたスコアをSibeliusの下位バージョン（Sibelius Firstなど）で開く場合）、スコアはロックされた状態で開かれ、ロックを解除できません。

Avidマスター・アカウントにログインまたは アプリ内で購入

Sibelius for mobileアプリをiPadまたはiPhoneで初めて起動すると、Sibelius Firstで起動します。現在Sibelius ArtistまたはSibelius Ultimateの永続ライセンス、もしくはサブスクリプション・ライセンスをお持ちの場合は、スコアビューからAvidマスター・アカウントにログインし、バージョンに応じた機能のロックを解除できます。（[Avidマスター・アカウントにログイン](#)を参照）上記に該当しない場合は、www.avid.comにアクセスしてAvidマスター・アカウントを作成し、ライセンスを購入します。

Avidマスター・アカウントをお持ちでなく、SibeliusをiPadまたはiPhoneのみで使用したい場合は、Apple IDを使用してAppStoreからアプリ内でサブスクリプションを購入することで、Sibelius FirstからSibelius ArtistまたはSibelius Ultimateへアップグレードできます。ただし、デスクトップまたはラップトップ・コンピューター用のSibelius ArtistもしくはSibelius Ultimateは含まれておらず、実行できません。サブスクリプションはいつでもアップグレードまたはダウングレードできます。

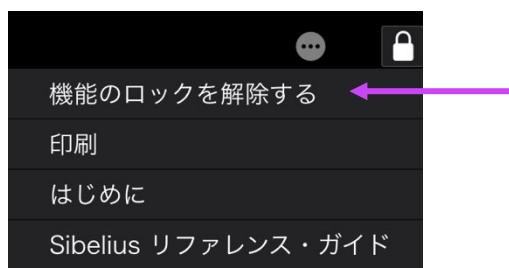


macOSおよびWindows用のSibeliusで利用できるすべての機能が、現在、iPadまたはiPhoneのSibelius for mobileアプリで利用できるわけではありません。詳細については、[バージョンの比較](#)をご参照ください。

Avidマスター・アカウントにログイン

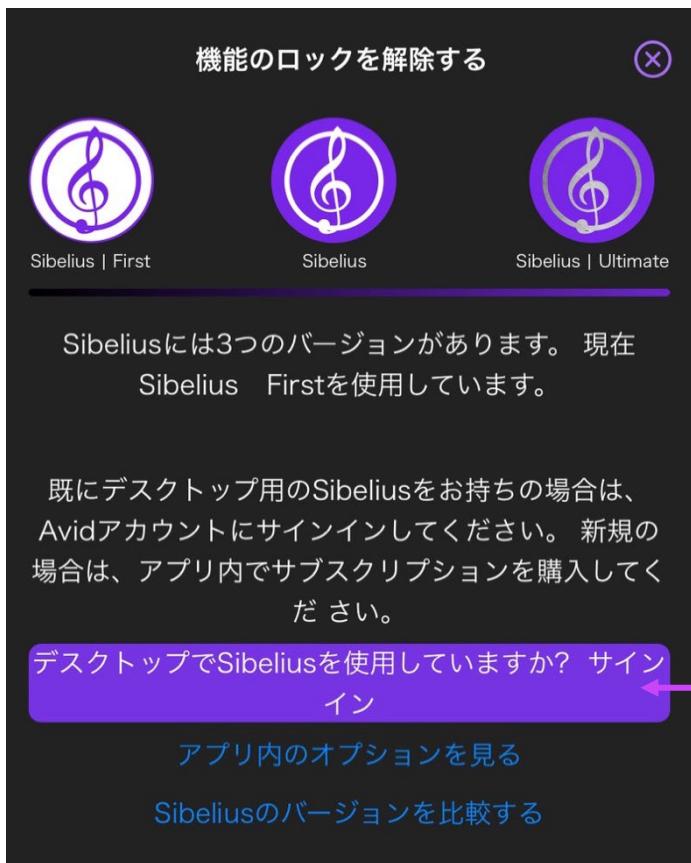
Avidマスター・アカウントにログインするには：

- 1 Sibelius for mobileアプリを起動し、Sibeliusスコアファイルを開きます。
- 2 スコアビューで、右上端から2番目の【詳細】メニュー内の、【機能のロックを解除する】をタップします。

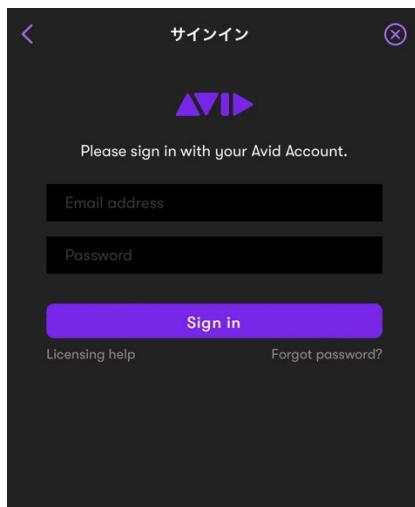


詳細メニュー（機能のロックを解除する前）

- 3 [機能のロックを解除する] ウィンドウで、[デスクトップでSibeliusを使用していますか？サインイン] をタップします。



- 4 [サインイン] ウィンドウで、Avidマスター・アカウントで使用しているメールアドレスとパスワードを入力します。



- 5 [サインイン (Sign in)] をタップします。

Avidマスター・アカウントにサインインすると、iPadまたはiPhoneのSibelius for mobileアプリが、お持ちのライセンスに応じて機能のロックを解除します。



機能のロックを解除するには、Sibelius ArtistまたはSibelius Ultimateの最新のアップデートおよびサポートプランまたはサブスクリプションが必要です。Sibelius 7.5以降をお持ちの場合は、[Avidマスター・アカウント・オンライン](#)でライセンスのステータスを確認できます。それよりも古いバージョンのSibeliusをお持ちの場合は、[Avidオンライン](#)にアクセスし、割引価格で現在のサブスクリプションにアップグレードしてください。

Avidマスター・アカウントからサインアウトするには：

- 1 スコアビューで、右上端から2番目の【詳細】メニュー内の、【サブスクリプションの管理】[]をタップします。
- 2 【サブスクリプションの管理】ウィンドウで、【サインアウト】をタップします。

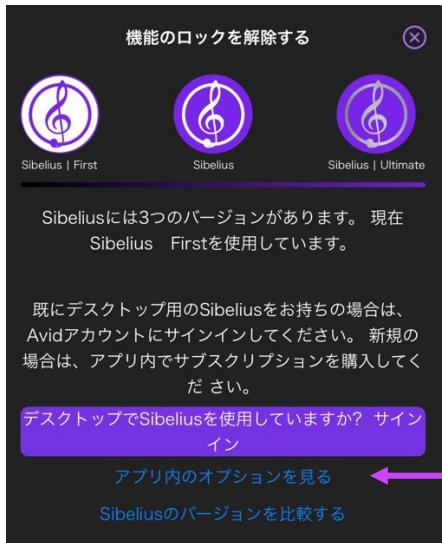


サインアウトすると、Sibelius for mobileアプリはSibelius Firstに戻ります。

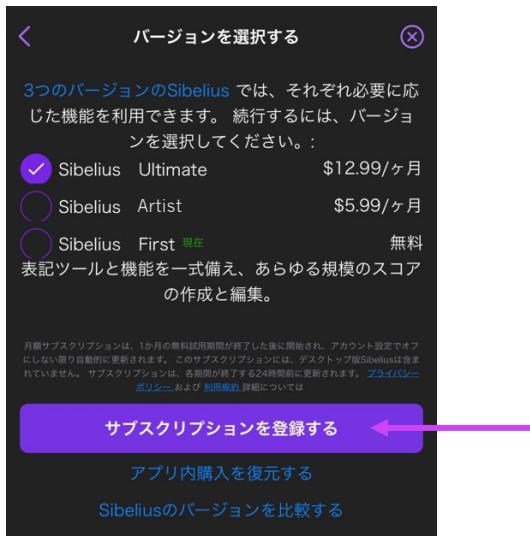
Apple IDを使用してアプリ内で購入

App Storeからアプリ内で購入してSibeliusの上位バージョンにアップグレードするには：

- 1 スコアビューで右上端から2番目の【詳細】メニュー内の、【サブスクリプションの管理】をタップします。
- 2 【機能のロックを解除する】ウィンドウで、【アプリ内のオプションを見る表示】をタップします。



- 3 購入したいSibeliusのバージョンを選択し、【サブスクリプションを登録する】をタップします。



- 4 Apple IDでサインインします。

- 5 購入手続きが完了したことが通知されたら、【OK】をタップします。

iPadまたはiPhoneのSibelius for mobileアプリは、購入したバージョンに応じて機能のロックを解除します。

【サブスクリプションの管理】を使用して、いつでもサブスクリプションを変更できます。

タッチ・ジェスチャ

Sibelius for mobileアプリは、スコアビューで、1本または複数の指を使用して行うタッチ・ジェスチャを使った、ズーム、移動、選択、音符入力、編集の操作に対応しています。これらのタスクの一部には、Apple Pencil（iPadのみ）またはマウス（iPhoneではBluetoothを利用してワイヤレス・マウスを接続できます）を使用することもできます。

タップして離す

画面を短くタップし、移動せずに離してオブジェクトを選択します。これは、マウスを1回クリックするのと同じです。

ダブルタップ

そのページのシステム内の1譜表をダブルタップして選択します。

テキスト・オブジェクトをダブルタップして編集します。

トリプルタップ

トリプルタップして、スコア内の1譜表全体を選択します。

タッチとドラッグ



スコアビューで、スコア上の空白部分をタッチしてドラッグし、移動します。これは、異なるスコアのページを表示する方法です。

オブジェクトをタッチして、別の場所にドラッグします。

Apple Pencilを使用して、スコアのページやオブジェクトを移動することもできます。

スワイプ



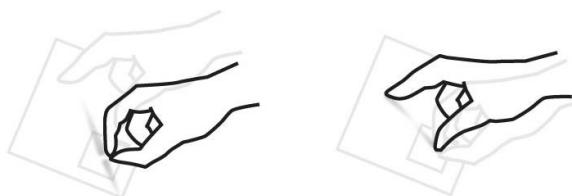
左、右、上、下をタッチしてスワイプし、ギャラリー（[譜面用紙] および [作成] メニュー）とコマンド（コマンド検索）をナビゲートします。

2本の指でつまむ



2本の指で画面に触れてから、指の間隔を狭めます。
これにより、スコアをズームアウトします。

2本の指を広げる



2本の指で画面に触れてから、指の間隔を広げます。
これにより、スコアをズームインします。

キーボードとマウスを使用する

Sibelius for mobileアプリは、外部キーボードとマウス（Bluetooth接続のApple Magic KeyboardとApple Magic Mouseなど）をサポートしています。macOSまたはWindowsのSibeliusと同じように、テキスト入力とキーボード・ショートカットにキーボードを使用できます。同様に、外部マウスは、macOSまたはWindows上のSibeliusを搭載した他のマウスと同じように動作します。

キーボード・ショートカット

Sibelius for mobileアプリは現在、iPadまたはiPhoneの外部キーボードで次のキーボード・ショートカットをサポートしています。



一部のキーは外部キーボードでのみ使用できるため、以下のキーボード・ショートカットのすべてがApple Magic keyboardで使用できるわけではありません。



ここでの「Home」キーはF14の真下の上矢印キー、「End」キーはF14の二つ下の下矢印キーを指します。（Apple Magic Keyboard）

標準機能（メニューバーからも操作可能）：

Command+Z	取り消す
Command+Y	やり直す
Delete	削除
Command+C	コピー
Command+X	切り取る
Command+V	貼り付ける
Command+S	保存

選択機能：

Command+A	全てを選択
Tab	次のオブジェクトを選択
Shift+Tab	前のオブジェクトを選択
Shift+Home	選択した先頭へ移動
Shift+End	選択した最後へ移動
Shift+左矢印	選択を左へ拡張
Shift+右矢印	選択を右へ拡張

Command+Shift+左矢印	小節の先頭まで選択を拡張
Command+Shift+右矢印	小節の最後まで選択を拡張
Command+Shift+Home	スコアの先頭まで選択を拡張
Command+Shift+End	スコアの最後まで選択を拡張
Option+上矢印	譜表を上へ移動する(相対位置)/上のオブジェクトの一部を選択
Option+下矢印	譜表を下へ移動する(相対位置)/下のオブジェクトの一部を選択
Shift+上矢印	選択を上へ拡張
Shift+下矢印	選択を下へ拡張
Option+右矢印	次のオブジェクトの一部を選択
Option+左矢印	前のオブジェクトの一部を選択
Option+Shift+A	システム・メッセージを選択

音符入力 :

1	32 分音符
2	16 分音符
3	8 分音符
4	4 分音符
5	2 分音符
6	全音符
7	ナチュラル
8	シャープ
9	フラット
0	休符に変更
. (ドット)	付点をつける
A, B, C, D, E, F, G	音の高さ (ピッチ)
S	スラーを作成
Shift+S	スラーを終了 (音符入力時)
Option+Return	次のタイのスタイル (タイの種類の変更)
H	クレッシェンドを作成
Shift+S	デクレッシェンドを作成
J	ベンドを追加
Command+B	スコアの最後に小節を追加
Command+Shift+B	一小節を追加
Command+Delete	小節の削除
R	繰り返し

X	符幹の向きを変える
Command+Shift+M	マルチレストを使う

操作 :

上矢印	オブジェクトを上へ移動
下矢印	オブジェクトを下へ移動
Command+上矢印	オブジェクトを大きく上へ移動
Command+下矢印	オブジェクトを大きく下へ移動
左矢印	前のオブジェクトを選択/オブジェクトを左に移動
右矢印	後のオブジェクトを選択/オブジェクトを右に移動
Option+Shift+左矢印	スペースを狭める
Option+Shift+右矢印	スペースを広げる
Command+左矢印	小節の最初のオブジェクトを選択
Command+右矢印	次の小節の最初のオブジェクトを選択
Command+Option+Shift+左矢印	スペースを大幅に狭める
Command+Option+Shift+右矢印	スペースを大幅に広げる
Page Up	スコア全体を上へ移動
Page Down	スコア全体を下へ移動
Home	ページごとに左へ移動
End	ページごとに右へ移動
Command+Home	最初のページへ移動
Command+Shift+Home	最後のページへ移動
Command+Page Up	ページの上部へ移動
Command+Page Down	ページの下部へ移動
Shift+-	符頭のタイプを順番に変更（十字、菱形、スラッシュなど）
Option+Shift+上矢印	譜表を上へ移動（絶対位置）/前のボイスの音符を選択
Option+Shift+下矢印	譜表を下へ移動（絶対位置）/次のボイスの音符を選択
Command+Option+Shift+上矢印	譜表を上へ大きく移動（絶対位置）
Command+Option+Shift+下矢印	譜表を下へ大きく移動（絶対位置）
Command+Option+上矢印	譜表を上へ大きく移動（相対位置）/上の譜表の音符を選択
Command+Option+下矢印	譜表を上へ大きく移動（相対位置）/下の譜表の音符を選択
Option+Page Up	ページを上に細かくスクロール
Option+Page Down	ページを下に細かくスクロール
Option+Home	スクリーンを左に細かく移動
Option+End	スクリーンを右に細かく移動

表示 :

Command+Shift+N	音符のスペースをリセットする
Command+Option+F	譜表にフォーカスする
Command+Shift+L	フォーマットをロックする
Command+Shift+U	フォーマットのロックを解除する
Command+Option+Shift+M	改ページ
Option+Shift+M	改行
Command+Option+Shift+H	空の譜表を非表示にする
Command+Shift+T	移調譜と切り替える
Command+Option+Shift+L	ライブプレイバックと切り替える
Command+Shift+C	列で整列
Command+Shift+R	行で整列
Command+Shift+P	位置をリセットする
Command+Shift+D	デザインをリセットする
Command+Option+Shift+P	スコアの位置にリセットする
Command+Option+Shift+D	スコアのデザインにリセットする

ギャラリー :

Q	音部記号
K	調号合
T	拍子記号
L	ライン
Z	記号
I	楽器
, (コンマ)	コマンド検索

スコア/パート譜 (Sibelius Ultimateのみ) :

Command+Option+Shift+D	スコアのデザインにリセット
Command + Option + Shift + P	スコアの位置にリセット
W	フルスコアとパート譜の切り替え
Command+Option + ‘ (アクセント)	次のパート譜
Command+Option+Shift+‘(アクセント)	前のパート譜

取り消す、やり直す

Sibeliusを使用すると、スコアに加えた変更を元に戻したり、やり直したりできます。 Sibelius for mobileアプリでは、スコアビュー上部とキーパッド・ウィンドウに [取り消す] ボタンがあります。さらに、タッチ・ジェスチャを使用して、編集を元に戻したり、やり直したりできます。

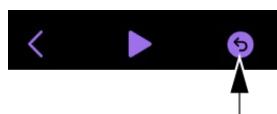
取り消すとやり直すの各機能は、コマンド検索から使用することもできます。

外部キーBOARDを使用している場合は、キーボード・ショートカットのCommand + Z で取り消す、Command + Y でやり直すを使用できます。

スコアビューの取り消すボタン

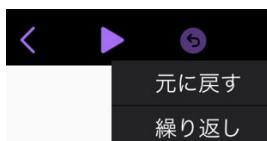
Sibelius for mobileで最後に行つた操作を取り消すには：

- [取り消す] ボタンをタップします。



最後に取り消された操作をやり直すには：

- [取り消す] ボタンを長押しします。
- メニューから [やり直す] を選択します。



取り消す/切り取り/コピー/貼り付け/やり直すを含むコンテキスト・メニューを表示するには：

- 画面上の任意の場所を3本の指でタップすると、画面の上部にコンテキスト・メニューが表示されます。
- メニューの [取り消す] または [やり直す] をタップします。

コンテキスト・メニュー iPad (左)、iPhone (右)

取り消すとやり直すの機能のためのタッチ・ジェスチャ

iPadまたはiPhoneのタッチ・ジェスチャを使用して、編集を取り消したり、やり直したりできます。

Sibelius for mobileで最後に行った操作を取り消すには：

- 3本の指で、左にスワイプします。

最後に取り消された操作をやり直すには：

- 3本の指で、右にスワイプします。

選択をする

スコアビューでは、タッチ・ジェスチャ、Apple Pencil（iPadでのみ）、または外部マウス（利用可能な場合）を使用して、オブジェクトと範囲を選択できます。

オブジェクトとパッセージの選択

Sibelius for mobileアプリでは、キーパッド、表記ギャラリー、およびコマンドを使用して、スコア内の個々のオブジェクトまたはパッセージ全体（範囲選択）を選択して編集できます。これには、音符入力、コピーと貼り付け、削除などが含まれます。

選択には主に4つの種類があります：

- ・ 単一オブジェクトの選択 - 1つのオブジェクトのみが選択されます。
- ・ 複数のオブジェクトの選択 - 複数の個々のオブジェクトが選択されます。
- ・ パッセージ選択 - 楽譜のパッセージが連続して選択されます。
- ・ システム選択 - スコア内のすべての楽器におけるパッセージが選択されます。

スコア内のオブジェクト（音符、アーティキュレーション、強弱など）は、選択すると色が変わります。パッセージの選択は、水色のボックス（「譜表パッセージ」）または紫色のボックス（「システム・パッセージ」）で表示されます。

4種類の選択すべてに対して、ほぼ同じことを行えます。主な違いは、最初にオブジェクトを選択する方法です。

選択をする

オブジェクトを選択するには：

- 指またはApple Pencilでオブジェクトをタップします。

複数のオブジェクトを選択するには：

- 各オブジェクトを指またはApple Pencilで長押しします。

線で囲って選択するには：

- 選択する場所の近くを指またはApple Pencilで長押しし、ドラッグして選択します。

譜表上の 1 小節を選択するには：

- 譜表上の 1 小節をタップします。

パッセージの選択を拡張して別の譜表を含めるには：

- 1 譜表上でパッセージを選択します。
- 2 最初に選択した範囲内で、他の譜表を指またはApple Pencilで長押しします。

1 譜表の 1 システムですべての小節を選択するには：

- システム上の譜表の小節をダブルタップします。

1譜表のすべての小節を選択するには：

- 譜表上の任意の小節をトリプルタップします。

システム上のすべての譜表を含む 1 小節を選択するには、次のいずれかを行います：

- システム上の任意の譜表の小節を2本の指でタップします。
- システム上の任意の譜表の小節を長押しし、画面から離します。

システム全体（すべての楽器を含む）を選択するには：

- 2本の指で 1 小節をダブルタップします。

すべて（スコア全体）を選択するには：

- 2本の指で任意の小節をトリプルタップします。

選択を解除するには：

- 選択範囲外のスコア上の任意のスペースをタップします。

選択された箇所の色

オブジェクトが選択されると、色が変わり、選択されたことを示します：

- 音符、譜表上のテキスト、ラインは、属する声部に応じて色分けされます（声部1は濃い青、声部2は緑、声部3はオレンジ、声部4はピンク）。オブジェクトが複数の声部またはすべての声部に属している場合、そのオブジェクトは水色になります。
- 他のさまざまな譜表オブジェクト（記号、音部記号、楽器の変更など）はすべての声部に適用されるため、水色になります。
- システム・オブジェクト（システム・テキスト、ラインと記号、拍子記号、調号など）は、選択すると紫色になります。

選択したアイテムの移動

選択したアイテムを移動するには：

- 選択したアイテムを指またはApple Pencilでタッチして、移動したい場所にドラッグします。

選択範囲の切り取り、コピー、貼り付け

iPadまたはiPhoneのSibelius for mobileアプリでは、コンテキスト・メニューまたは3本の指のタッチ・ジェスチャを使用して、選択範囲を切り取り、コピー、および貼り付けることができます。

切り取り、コピー、貼り付けの各コマンドは、コマンド検索から使用することもできます。

外部キーボードを使用している場合は、キーボード・ショートカットのCommand + Xで切り取り、Command + Cでコピー、およびCommand + Vで貼り付けを使用できます。

3本指のタッチ・ジェスチャを使用して選択範囲を切り取りまたはコピーして貼り付けるには：

- 切り取りまたはコピーしたいものを選択します。
- 次のいずれかを行います：
 - 選択範囲をコピーするには、3本の指で1度つまみます。
 - 選択範囲を切り取るには、3本の指で2度つまみます。
- 切り取ったものまたはコピーしたものを貼り付けたい場所を選択します。
- コピーまたは切り取ったものを貼り付けるには、3本の指を広げます。

取り消す / 切り取り / コピー / 貼り付け / やり直すを含むコンテキスト・メニューにアクセスし、選択範囲を切り取ったり、コピーして貼り付けたりするには：

- 1 切り取りまたはコピーしたいものの選択を行います。
- 2 3本指で画面上の任意の場所をタップし、画面の上部にコンテキスト・メニューを表示させます。
- 3 メニュー上の [切り取り] もしくは [コピー] をタップします。



コンテキスト・メニュー iPad (左)、iPhone (右)

- 4 切り取ったものまたはコピーしたものを貼り付けたい場所を、新しく選択します。
- 5 3本指で画面上の任意の場所をタップし、画面の上部にコンテキスト・メニューを再度表示させます。
- 6 メニュー上の[貼り付け]をタップします。

変則的な小節

Sibelius for mobileアプリでは、[1小節にまとめる]コマンドを使用して、選択範囲から変則的な小節を作成できます。これは、弱起を作成したり、複数の小節を結合したりする場合に便利です。



[1小節にまとめる]コマンドは、システム・オブジェクトを追加したり、スコアのレイアウトを構成したりする前の、音符入力時に使用するのが最適です。



システム・オブジェクトは、選択されているかどうかに関係なく含まれていません。これには、システム・テキスト、記号、ライン、調号、および特別な小節線が含まれます。さらに、変則的な小節を作成するとレイアウトがリセットされるため、改行または改ページのある譜表の終わりが選択に含まれている場合、それは削除されるので、必要に応じて改行または改ページを再び追加する必要があります。



[1小節にまとめる]コマンドを使用すると、クリップボードがクリアされます。

弱起を作成するには：

- 1 スコアビューで、1小節目的一部分の休符もしくは音符を選択します（例えば、4/4のスコアの1小節目で、8分音符の休符を選択します）。

8分音符の休符を選択して弱起を作成する

- 2 [コマンド検索]アイコンをタップし、「変換」と入力します。
- 3 検索結果リスト上の[選択範囲を変則的な小節に変換]をタップします。

1小節目が選択箇所の長さ（例：8分音符）の小節に変更されますが、その次の小節からは指定された拍子記号に従います。

複数の小節を結合し、変則的な小節を作成するには：

- 1 スコアビューで、複数の小節を選択します（小節全体だけでなく小節の一部を選択することもできます）。

変則的な小節を結合するために選択された2つの小節

- 2 [コマンド検索]アイコンをタップし、「変換」と入力します。
- 3 検索結果リスト上の[選択範囲を変則的な小節に変換]をタップします。

選択範囲が1つの変則的な小節に結合されます。

Sibelius キーパッド

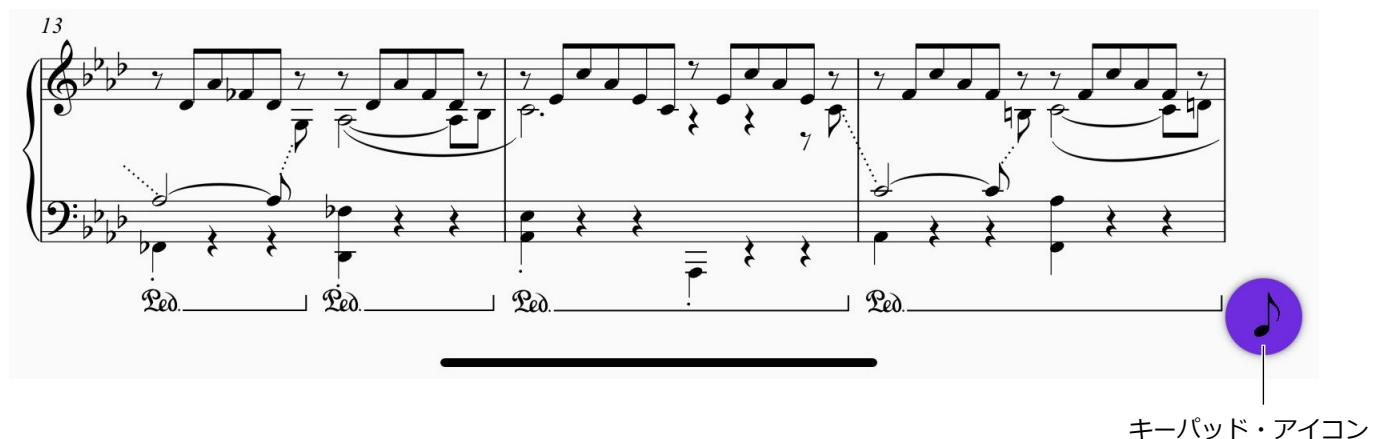
Sibelius for mobileアプリは、macOSやWindows用のSibeliusと同じように、音符の入力と編集用のキーパッドがありますが、iPadまたはiPhoneではいくつかの違いがあります。スコアビューの右下に表示されるキーパッド・ウィンドウは、画面上の任意の場所に配置できます。

キーパッドは、タッチ・ジェスチャ、Apple Pencil（iPadのみ）、外部マウス、外部テンキーによって操作できます。

キーパッド・ウィンドウ

キーパッド・ウィンドウを表示するには：

- スコアビューで、キーパッド・アイコンをタップします。デフォルトでは、スコアの右下に表示されます。



キーパッド・アイコンの場所でキーパッド・ウィンドウが開きます。

キーパッド・ウィンドウを画面上の任意の場所に配置するには：

- キーパッド・アイコンをタッチして、画面上の任意の場所にドラッグします。
-  キーパッド・アイコンの位置は、横置きと縦置きの画面の向きごとに設定および保存されることに注意してください。

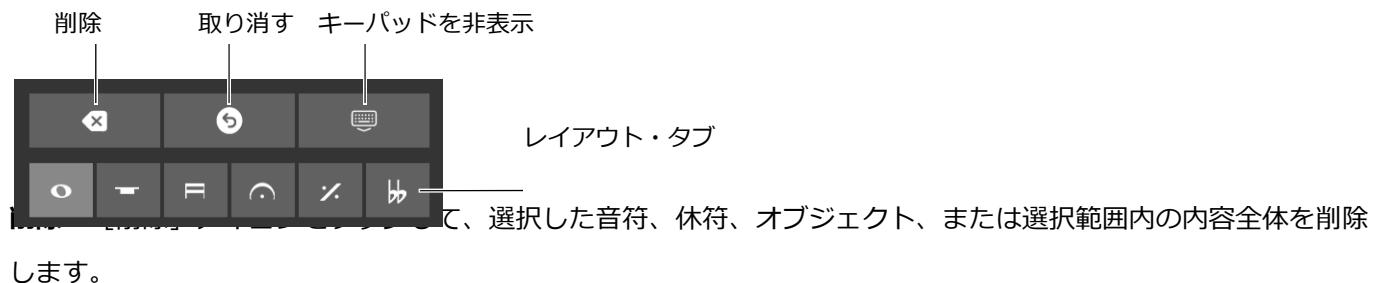
キーパッド・ウィンドウを閉じるには：

- キーパッド・ウィンドウの右上隅にある【キーパッドを非表示】アイコンをタップします。



キーパッド上の共通のコントロール

キーパッド・ウィンドウの一番上の行には、選択したレイアウトに関係なく、左から右に次の共通のコントロールがあります：削除、取り消す、キーパッドを非表示。2行目のレイアウト・タブでは、6つのキーパッド・レイアウトのいずれかを選択できます。



取り消す [取り消す]アイコンをタップして、最後に行った操作を取り消します。

キーパッドを非表示 [キーパッドを非表示] アイコンをタップして、キーパッド・ウィンドウを非表示にします。

キーパッド・レイアウト

キーパッドには6つのレイアウトがあります（以下はSibelius Ultimateのキーパッド・レイアウト）。Sibelius ArtistまたはSibelius Firstですべてのオプションがサポートされているわけではありません。





キーパッドのレイアウトを変更するには：

- キーパッド・ウィンドウの上部2行目にあるレイアウト・アイコンから、表示したいキーパッド・レイアウトのレイアウト・アイコンをタップします。

声部

Sibelius ArtistとSibelius Ultimateでは、1譜表につき最大4つの声部、Sibelius Firstでは最大2つの声部を利用できます。キーパッド・ウィンドウの一番下の行では、音符入力と編集に合わせて、譜表上のそれぞれの声部を選択できます。タップして、声部1、2、3、4またはすべての声部（All）を選択します。

Sibelius ArtistまたはSibelius Firstでサポートされていないキーパッド・オプションの表示

すべてのキーパッド・オプションがSibelius ArtistまたはSibelius Firstでサポートされているわけではありません。サポートされていないオプションはグレーに表示されます。



グレーに表示されたサポートされていないオプション

2つ目のキーパッド・レイアウト、Sibelius First

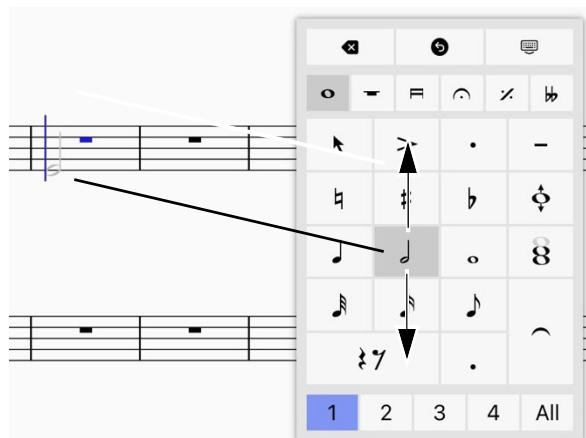
キーパッドを使用した音符入力と編集

タッチ・ジェスチャ、Apple Pencil（iPadのみ）、外部マウス、外部テンキーを使用して、キーパッドから音符入力と編集を行うことができます。

 外部USBまたはBluetooth MIDIデバイスを使用して、キーパッドを併用しながらステップ入力で音符を入力することもできます（[MIDIを使用して音符を入力する](#)を参照）。

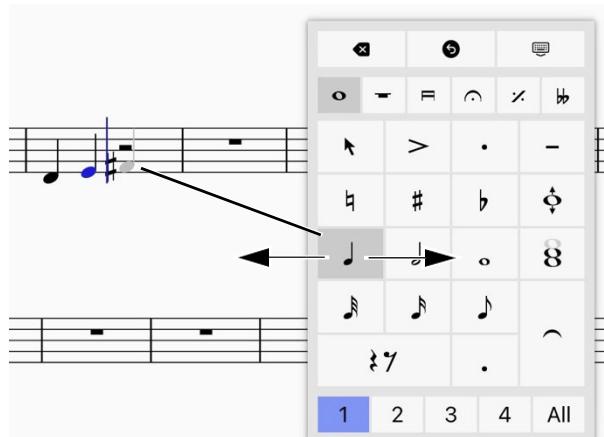
キーパッドを使用して音符を入力するには：

- 1 次のいずれかを実行して、音符を入力したい場所に音符入力カーソルを置きます。
 - 音符を入力したい場所をスコア上でタップします。これにより、小節全体が選択され、音符入力カーソルが小節の先頭に配置されます。
 - 長押ししてからドラッグして、音符を入力したい場所を囲むように選択します。これにより、音符入力カーソルが選択範囲の先頭に配置されます。
- 2 まだ表示されていない場合は、スコアの左下、もしくは右下にあるキーパッド・アイコンをタップして、キーパッド・ウィンドウを表示します。
- 3 音符入力する声部をタップして選択します。選択しない場合、デフォルトで声部1に音符が入力されます。
- 4 入力したい音符の音価をキーパッド上で長押しすると、選択範囲の先頭に音符の影が表示されます。
- 5 次の手順を行います：
 - 指を上下に動かして、譜表上の音符を上下に動かします。



上にドラッグしてピッチを上げ、下にドラッグしてピッチを下げる

- 指を左右に動かして、フラットやシャープを追加します。



左にドラッグしてフラットを追加、右にドラッグしてシャープを追加

- 指またはApple Pencilを離すと音符が入力されます。

6 音符入力カーソルが進むので、次々と音符を入力し続けることができます。

Apple Pencilでキーパッドを使用して音符を入力するには（iPad）：

- スコアの左下もしくは右下にあるキーパッド・アイコンをタップして、キーパッド・ウィンドウを表示します。
- 音符を入力する声部をタップして選択します。
- 入力する音符の音価を選択します（臨時記号とアーティキュレーションを選択してタップし、音符と一緒に入力することもできます）。
- Apple Pencilを使用して、音符を入力する譜表をタップします。（音符を長押ししてから上下にドラッグしてピッチを変更したり、左右にドラッグして音符の位置を変更したりできます。）
- 必要に応じて音符を入力し続けます。



Apple Pencilを使用して音符を入力する場合、Apple Pencilでスコアの周りに音符の影をドラッグしながら、キーパッドのオプションを指でタップすることで、音符の影に同時に変更を加えることができます。

休符を入力する

音符を入力するのと同じように、キーパッドを使用して休符を入力できます。

タッチ・ジェスチャでキーパッドを使用して休符を入力するには：

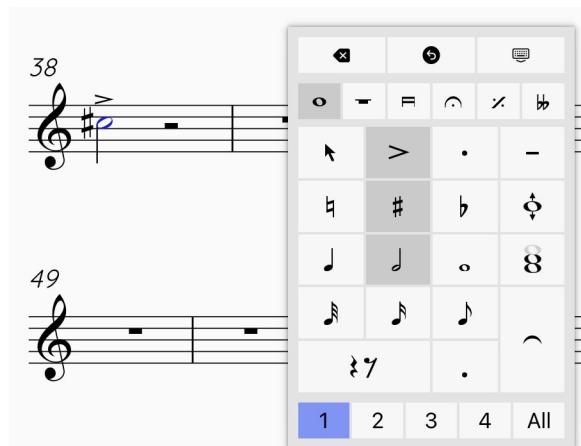
- 1 次のいずれかを行い、休符を入力したい場所に音符入力カーソルを置きます。
 - 休符を入力したい場所をスコア上でタップします。これにより、小節全体が選択され、音符入力カーソルが小節の先頭に配置されます。
 - 長押ししてからドラッグして、休符を入力したい場所を囲んで選択します。これにより、音符入力カーソルが選択範囲の先頭に配置されます。
- 2 スコアの左下または右下にあるキーパッド・アイコンをタップして、キーパッド・ウィンドウを表示します。
- 3 休符を入力したい声部を選択し、タップします。
- 4 キーパッド上の休符ボタンを長押しすると、休符の影が選択範囲の先頭に表示されます。



- 休符を左にドラッグして短く、右にドラッグして長くする
- 5 休符ボタンを左にドラッグして短くするか、右にドラッグして長くすることで、休符の長さを変更できます。この操作に応じて、選択範囲上の休符の影の長さが変化します。
 - 6 指またはApple Pencilを持ち上げると、休符が入力されます。
 - 7 音符入力カーソルが進むので、休符や音符を次々と入力し続けることができます。

音符のプロパティの表示と編集

音符を選択すると、キーパッド上でその音符のプロパティ（音価、臨時記号、アーティキュレーションなど）を示します。たとえば、スコアで2分音符を選択すると、最初のキーパッド・レイアウトの2分音符ボタンが強調表示されます。音符にシャープとアクセントが付いている場合は、キーパッドのシャープボタンとアクセントボタンも強調表示されます。同様に、4分音符の休符を選択すると、キーパッドの4分音符と休符のボタンが強調表示されます。



選択された音符のプロパティのキーパッド上での表示：半音符、シャープ、アクセント

選択した音符のプロパティを変更するには：

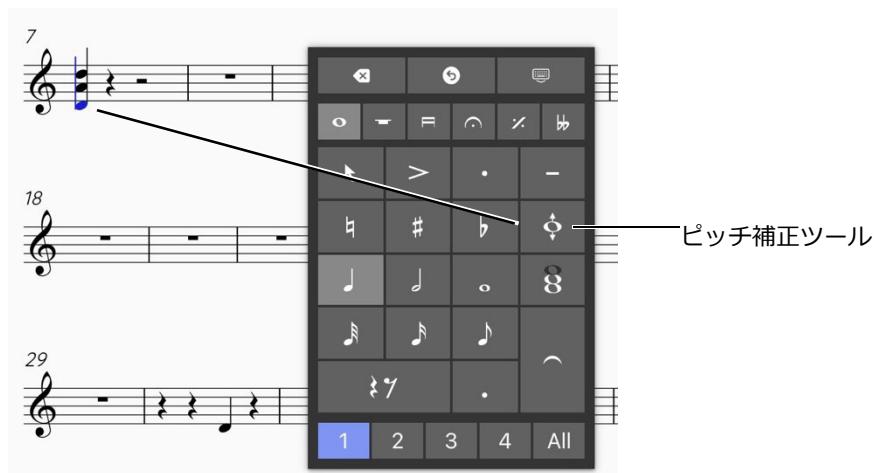
- 1 変更したい音符を選択します。音符の音価と追加されたプロパティのキーパッドボタンが強調表示されます。
- 2 特定の音符のプロパティを削除するには、キーパッド上で対応するボタン（フラットボタンやアクセントボタンなど）をタップします。
- 3 音符にプロパティを追加するには、キーパッド上で対応するボタン（シャープボタンやスタッカートボタンなど）をタップして強調表示させます。
- 4 音価を変更するには、異なる音価のボタンをタップして。
- 5 音符を休符に変更するには、休符ボタンをタップして強調表示します
- 6 必要に応じて、他のキーパッド・レイアウト上のプロパティを追加・変更できます。

ピッチ補正と和音入力ツール

キーパッドの1つ目と2つ目レイアウトに、ピッチ補正ツールと和音入力ツールがあります。これらのツールを使うと、iPadまたはiPhoneのタッチ・ジェスチャで和音の入力と編集を簡単にできます。

ピッチ補正ツール

ピッチ補正ツールを使用して、和音内音符を含む、選択した音符のピッチを変更します。



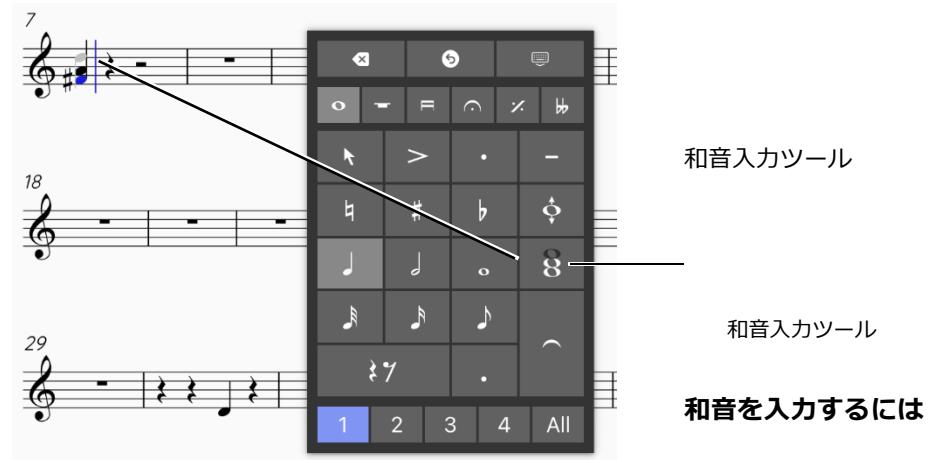
ピッチ補正ツール

選択した音符のピッチを変更するには：

- 1 変更したい音符を選択します。
- 2 ピッチ補正ツールを長押しして、次のいずれかを行います：
 - 上にドラッグしてピッチを上げます。
 - 下にドラッグしてピッチを下げます。
 - 左にドラッグして音符にフラットを追加します。
 - 右にドラッグして音符にシャープを追加します。

和音入力ツール

和音入力ツールを使用して、和音を作成するための音符を追加します。



1 音符を入力するか、既存の音符を選択します。

- 2 和音入力ツールをタップすると、選択した音符の3度上に音符が追加されます。別のピッチを追加する場合は、音符入力ツールを長押しして、次のいずれかを行います：
 - 上にドラッグしてピッチを上げます。
 - 下にドラッグしてピッチを下げます。
 - 左にドラッグして音符にフラットを追加します。
 - 右にドラッグして音符にシャープを追加します。
- 3 この手順を繰り返して、必要に応じて和音に音符を追加します。

キーパッドを使用しないApple Pencilでの音符入力 (iPad)

iPadでは、キーパッドを使用することなく、Apple Pencilで音符を入力できます。Apple Pencil音符入力モードでは、スコアの任意の場所に音符を入力したり、音符にシャープまたはフラットを追加したり、音符を入力するときに音符の長さを変更したりできます。

Apple Pencil音符入力モードを使用するには：

- 1 Apple Pencilを使用して、スコア内の譜表上の任意の場所を強く押さえると、音符の影が表示されます。
- 2 Apple Pencilで音符の影を上下に動かして、ピッチを変更します。
- 3 Apple Pencilを持ち上げると音符が入力されます。これで、Apple Pencil音符入力モードになります。
- 4 Apple Pencilでタップし続けると、さらに音符を入力できます。
- 5 音符にシャープまたはフラットを追加するには、Apple Pencilを上下に傾けます。
- 6 音符の長さを短くしたり長くしたりするには、Apple Pencilを左右に傾けます。

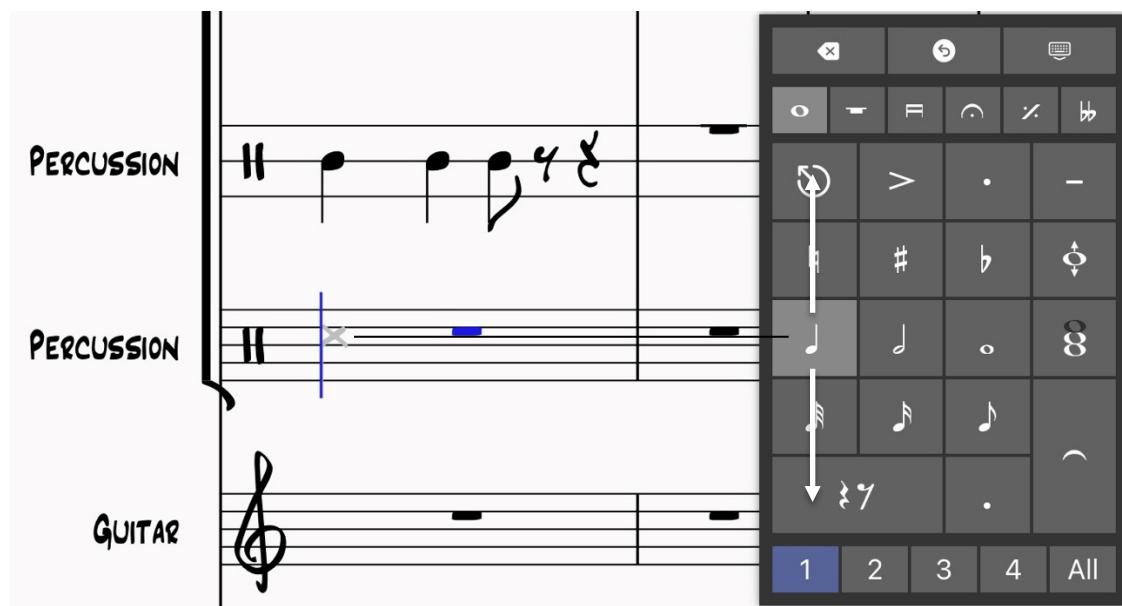
パーカッション譜表における音符入力と編集ジェスチャ

Sibeliusでは、関連する符頭とアーティキュレーションのテンプレートとともに、ピッチが不定のパーカッションおよびピッチのないパーカッションの、デフォルトの音符マッピングを使用できます。キーパッドを使用してパーカッション譜表に音符を入力する際に、符頭を変更できるようになりました。キーパッドからパーカッション譜表に音符を入力するときは、上下にドラッグして、使用できる全ての音符マッピング、符頭タイプ、およびアーティキュレーションを順番に表示させます。ドラッグしている間、その表記に一致したサンプルを再生します。この方法を使用すると、使用できる音符マッピングを超えることはなく、また、選択できるのは各楽器のテンプレートで使用できる符頭とアーティキュレーションに制限されます。

パーカッションの譜表に音符を入力し、利用できる音符マッピング、符頭、およびアーティキュレーション（存在する場合）を順番に表示させるには：

- 1 音符を入力したいパーカッションの譜表の場所をタップします。
- 2 キーパッドで、音価（四分音符など）をタップし、上下にドラッグします。

上または下にドラッグすると、音符の影は、利用できる音符マッピング、符頭、およびアーティキュレーションを順番に表示します。



上下にドラッグして音符マッピングと符頭を順番に表示する

- 3 キーパッドを操作している指やApple Pencilを離すと音符が入力されます。

ピッチ補正ツール・ジェスチャを使用したパーカッションの音符の編集

ピッチ補正ツールで上下および左右のドラッグ・ジェスチャを使用して、選択したパーカッションの音符を変更できます。

選択したパーカッションの音符で利用できる音符マッピング、符頭、およびアーティキュレーションを順番に表示させるには、次のようにします：

- キーパッドのピッチ補正ツールをクリック（またはタップ）してドラッグします。

音符マッピングのないパーカッション譜表

SibeliusおよびSibelius for mobileを使用すると、音符マッピング、符頭、またはアーティキュレーションが利用できない一般的な1、2、3、および4線譜のパーカッション譜表をスコアに追加できます（一般的な五線譜のパーカッション譜表はデフォルトのドラムキット・マッピングを使用します）。マッピングが利用できないパーカッション譜表でキーパッドを使用して音符を入力または編集する場合、ジェスチャでの音符入力は、マッピングが利用できる五線譜とは少し異なる動作をします。

- 上下にドラッグすると、符頭はそのままで、譜表上で音符が上下に移動します。
- 左右にドラッグすると、音符の位置はそのままで、すべての符頭タイプを順番に表示します。

Apple Pencilを使用したパーカッション音符入力

iPadでは、Apple Pencilを使用して、\Apple Pencilの圧力加減や傾きジェスチャを使用してパーカッション譜表の音符を編集できます。

Apple Pencilを使用してパーカッション譜表の音符の符頭スタイルを変更するには：

- Apple Pencil で、編集する音符を強く押してから、上下に傾けます。
- 目的の符頭が表示されたら、Apple Pencil への圧力を弱め、その音符を目的の場所に移動します。
- Apple Pencil を離すと音符が入力されます。

続けて入力する次の音符は、編集した音符の符頭と一致します。たとえば、Apple Pencilでスコアをタップしてハイハットの十字符頭を入力した場合、次に入力する音符も十字符頭になります。



スコア内の任意の音符を「強く押して選択」すると、音符入力モードに入り、音符の影が選択範囲と一致します。このようにして、パーカッション譜表に既に入力されている音符を、次に入力する音符の「パレット」として使用できます。通常の音符と十字符頭を交互に入力する場合は、指で画面をタップして音符入力モードを終了し、Apple Pencilで強く押して次の音符スタイルを選択し、その新しい音符を任意の位置にドラッグして配置します。

Apple Pencilを使用してパーカッション譜表上の音符の音価を変更するには：

- 1 変更したい音符を強く押してから、Apple Pencil を左右に傾け、音価を変更します。
- 2 Apple Pencil を離すと、音符が新しい音価に変更されます。

MIDIを使用して音符を入力する

Sibelius for mobileアプリでは、USBもしくはBluetooth MIDI デバイスを使用して、iPadまたはiPhoneで音符入力ができます。USB MIDI デバイスは、接続してすぐに演奏できます（USB MIDIコントローラーとiPadまたはiPhoneを接続するには、USB-C/USBまたはライトニング/USBアダプターが必要です）。

Bluetooth MIDI デバイスの設定

Sibelius for mobileアプリで音符入力する際にBluetooth MIDI デバイスを使用するには、いくつかの設定が必要です。USB MIDI入力を使用している場合はこれらの設定は必要ありません。

Bluetooth MIDI デバイスを設定するには：

- 1 使用するMIDI デバイスでBluetoothをオンにします。
- 2 [設定] アプリで、Bluetoothをオンにし、Bluetooth MIDI デバイスがiPadまたはiPhoneとペアリングできているか確認します。
- 3 Sibelius for mobileアプリでSibeliusスコアファイルを開きます。
- 4 スコアビューで[詳細]メニュー（ロックボタンの左横）をタップし、[Bluetooth MIDI デバイス] をタップします。



- 5 Bluetooth MIDI デバイス・リストから任意のデバイスを選択します。
- 6 リスト上のデバイスが「未接続」と表示されている場合、タップして接続します。



Bluetooth MIDI デバイス・リスト デバイスが接続済みの状態

- 7 Bluetooth MIDI デバイス・リストの画面を閉じ、スコアビューに戻るには、次のいずれかを行います：
 - Bluetooth MIDI デバイス・リストの画面左上の[x]マークをタップします。
 - Bluetooth MIDI デバイス・リストの画面以外の任意の場所をタップします。

選択し、接続されたBluetooth MIDI デバイスはステップ入力に使用できるようになりました。

Bluetooth MIDI デバイス・リストを管理する

Bluetooth MIDI デバイス・リストには、複数のデバイスが表示される場合があります。電源が入っていて、近くにあるBluetooth MIDI デバイスがリストに表示されます。以前に検出されたすべてのBluetooth MIDI デバイスは、使用可能かどうかに関係なくリストに表示されます。これにより、使用しないBluetooth MIDI デバイスを含む長いリストが作成される可能性があります。利用できないデバイスはオフラインとしてリストに表示され、リストから削除することができます。

Bluetooth MIDI デバイス・リストからオフラインのデバイスを削除するには：

- 1 Sibelius for mobile アプリを起動し、Sibelius スコアファイルを開きます。
- 2 スコアビューで、[詳細]（一番上の右から2番目のアイコン）をタップし、[Bluetooth MIDI デバイス]をタップします。
- 3 表示された Bluetooth MIDI デバイス・リスト右上の[編集]をタップします（[編集]は、リストにオフラインのデバイスがある場合にのみ表示されます）。



Bluetooth MIDI デバイス・リスト上のオフラインのデバイス

- 4 [編集]が[キャンセル]に、[x]が[解除]に表示が変わり、リスト上の各デバイスの左側に選択ボタンが表示されます。
- 5 リストから削除するデバイスを選択します。



Bluetooth MIDI デバイス・リストで削除するために選択されたオフラインのデバイス

- 6 [解除]をタップして、選択したデバイスを削除します。（または[キャンセル]をタップして、すべてのデバイスをリストに残します。）

USBまたはBluetooth MIDI デバイスを使用するステップタイムMIDI入力

USBまたはBluetooth MIDI デバイスを使用してステップタイムMIDI入力をするには：

- 1 USBまたはBluetooth MIDI デバイスが接続されていて、入力ができるか確認します。
- 2 入力ができない場合は、Sibelius for mobileアプリを再起動します。

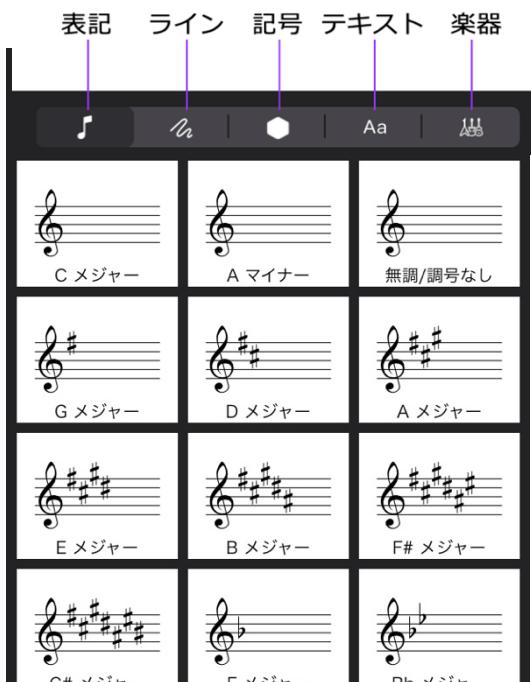
作成メニュー・ギャラリー

スコアビューでは、作成メニューを使用して、表記、ライン、記号、テキスト、および楽器のギャラリーにアクセスできます。

Sibelius for mobileアプリでは、ギャラリー内で多くの表記オブジェクトとコマンドを追加・変更できます。ギャラリーは、カテゴリ別にアイコンで分けられたオプションの一覧と、検索機能（表記アイコン以外）を備えています。

作成メニューでギャラリーを表示するには：

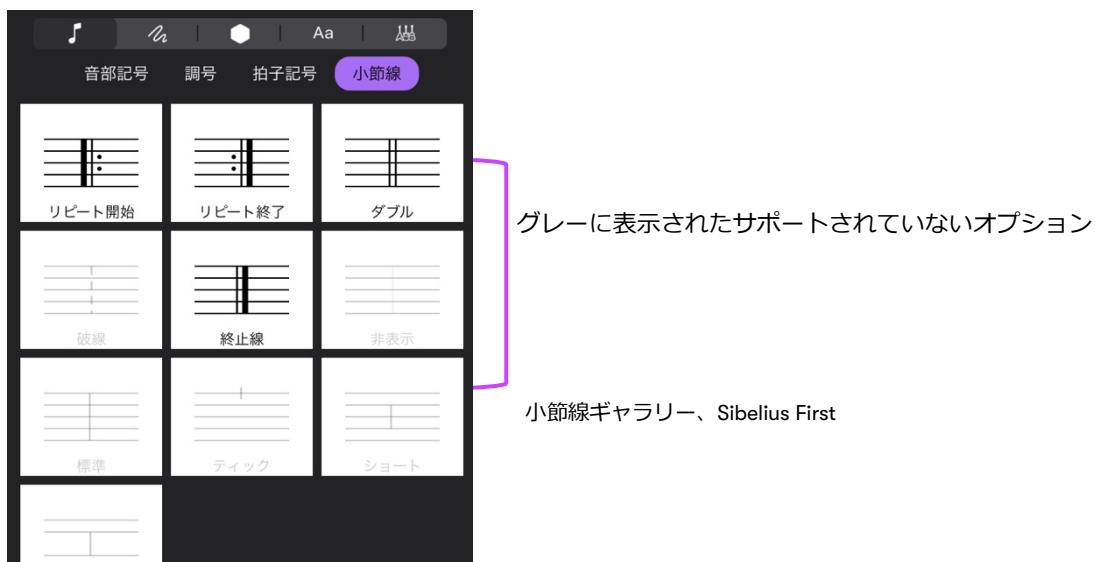
- 1 オブジェクトまたはメッセージを選択します。
- 2 画面右上の [+] アイコンをタップし、作成メニューを表示します。
- 3 目的のギャラリー・カテゴリのタブをタップします。左から順に、表記、ライン、記号、テキスト、楽器です。
- 4 カテゴリ内の追加・変更したいギャラリーの名前（調号など）をタップします。



表記タブ内の調号ギャラリーの表示

Sibelius ArtistまたはSibelius Firstでサポートされていないオプションの表示

すべてのオプションがSibelius ArtistまたはSibelius Firstでサポートされているわけではありません。サポートされていないオプションはグレーに表示されます。



表記ギャラリー

[表記] タブには、音部記号、調号、拍子記号、および小節線のギャラリーが含まれています。

1つの小節または一部の小節を選択すると、音部記号、調号、および拍子記号の変更は、スコアの最後まで、または次の音部記号、調号、もしくは拍子記号の変更まで持続します。

音部記号

音部記号を追加する、または音部記号を変更するには：

- 1 譜表全体を選択するか、譜表でメッセージを選択します。
- 2 [+] アイコンをタップして【作成メニュー】を開きます。
- 3 【表記】タブをタップしてから、音部記号ギャラリーをタップします。
- 4 必要な音部記号をタップします。

音部記号の変更は、選択範囲の先頭から適用されます。

選択範囲の前後に異なる音部記号がある場合、それは維持されます。

調号

調号の変更は、選択範囲のシステム内のすべての譜表に適用されます。

調号を追加または変更するには :

- 1 譜表全体を選択するか、譜表でパッセージを選択します。
- 2 [+] アイコンをタップして [作成メニュー] を開きます。
- 3 [表記] タブをタップしてから、調号ギャラリーをタップします。
- 4 必要な調号をタップします。

調号は、選択範囲の先頭からシステム内のすべての譜表に適用されます。

選択範囲の前後に異なる調号がある場合、それは維持されます。

拍子記号

拍子記号の変更は、選択範囲のシステム内のすべての譜表に適用されます。

拍子記号を追加または変更するには :

- 1 譜表全体を選択するか、譜表でパッセージを選択します。
- 2 [+] アイコンをタップして [作成メニュー] を開きます。
- 3 [表記] タブをタップしてから、拍子記号ギャラリーをタップします。
- 4 必要な拍子記号をタップします。

拍子記号は、選択範囲のからシステム内のすべての譜表に適用されます。

選択範囲の前後で異なる拍子記号がある場合、それは維持されます。選択したスコアは、新しい拍子記号に合うように書き直されます。

小節線

小節線ギャラリーでは、スコアで選択した小節線のスタイルを変更できます。

選択した小節線を変更するには :

- 1 1つの小節線、1つの小節、もしくはパッセージを選択します。
- 2 [+] アイコンをタップして [作成メニュー] を開きます。
- 3 [表記] タブをタップしてから、小節線ギャラリーをタップします。
- 4 必要な小節線をタップします。

選択範囲内のすべての小節線が、システム内のすべての譜表で新しい小節線スタイルに変更されます。ただし、リピート線は例外です。リピートの開始またはリピートの終了のいずれかが小節またはパッセージの選択範囲内にある場合、リピートの開始は選択範囲の先頭の小節線に適用され、リピートの終了は選択範囲の最後の小節線に適用されます。その間にある他のすべての小節線は変更されません。

ラインギャラリー

[ライン] タブには、スラー、ヘアピン、トリル、グリッサンドなど、あらゆる種類のライン・オブジェクトのギャラリーが含まれています。

ライン・オブジェクトを選択範囲に追加するには：

- 1 ライン・オブジェクト（メロディー・パッセージなど）を追加したい場所を選択します。
 - 2 [+] アイコンをタップして【作成メニュー】を開きます。
 - 3 【ライン】タブをタップします。
 - 4 選択範囲に追加したいライン・オブジェクト（スラーやクレッシェンドなど）をタップします。
-

記号ギャラリー

[記号] タブには、装飾音、打楽器記号、アーティキュレーション、臨時記号、符頭など、あらゆる種類の記号のギャラリーが含まれています。

選択範囲に記号を追加するには：

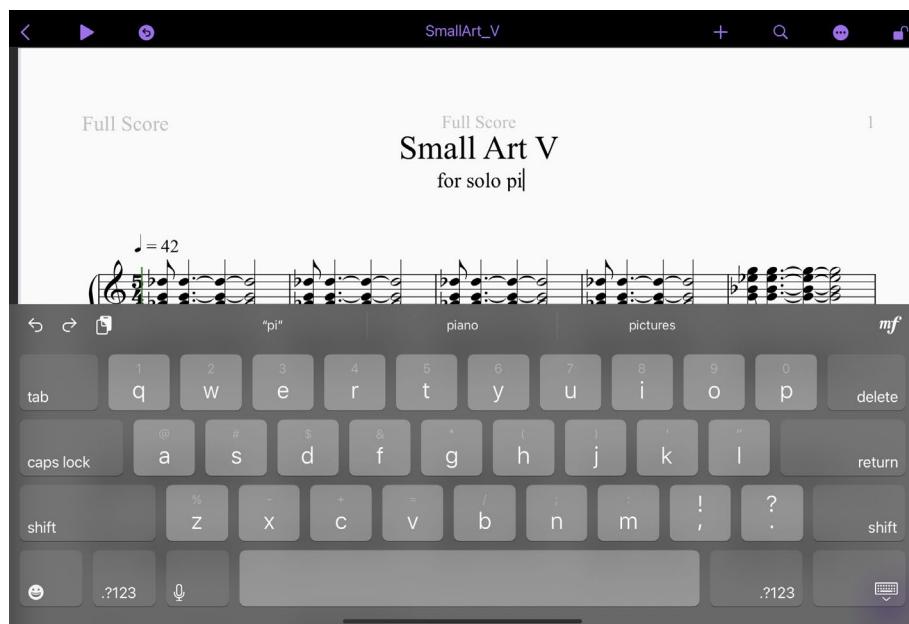
- 1 記号オブジェクト（単音や譜表など）を追加したい場所を選択します。
 - 2 [+] アイコンをタップして【作成メニュー】を開きます。
 - 3 【記号】タブをタップします。
 - 4 選択範囲に追加したい記号をタップします（選択した音符の上に上向きの記号を付けたり、選択した小節の上にCoda記号を付けたりします）。
-

テキストギャラリー

[テキスト] タブには、テクニック、テンポ、コード記号などを含む、すべてのテキスト・オブジェクトのギャラリーが含まれています。

選択範囲にテキスト・オブジェクトを追加するには：

- 1 テキスト・オブジェクト（単音、小節、譜表など）を追加したい場所を選択します。
- 2 [+] アイコンをタップして【作成メニュー】を開きます。
- 3 【テキスト】タブをタップします
- 4 選択範囲に追加したいテキスト・オブジェクト（テクニック、テンポ、コード記号、タイトルテキストなど）をタップします。
- 5 テキスト入力カーソルが適切な場所に表示され、キーボードが画面の下部に表示されます。
- 6 画面上に表示されたキーボード（または、使用可能な場合は外部キーボード）を使用して、適切なテキスト（「pizz.」、「Andante」、「Dm9」など）を入力します。ほとんどの場合、単語メニューを使用して、ダイナミクスやテンポなど、必要なテキスト・オブジェクトを選択することもできます（[単語メニュー](#)を参照）。



サブタイトル・テキストを入力

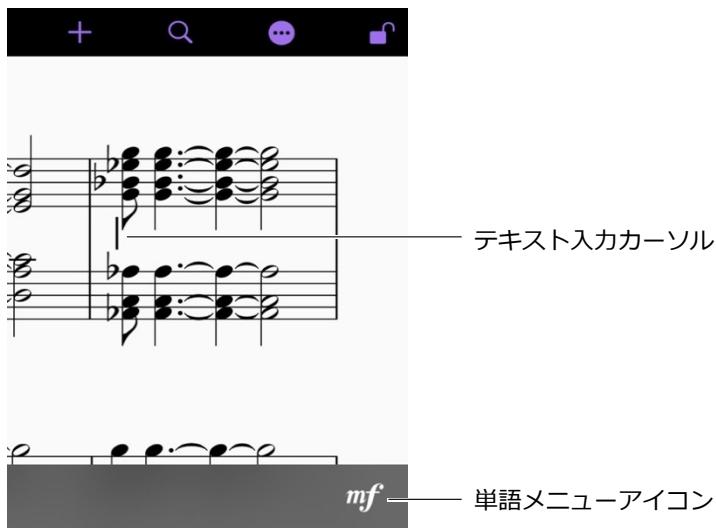
単語メニュー

Sibelius for mobileアプリでは、単語メニューを使用して、強弱記号、速度表記、コード記号、およびその他の音楽フォントから派生したテキスト・オブジェクトを挿入できます。

テキスト・オブジェクトの単語メニューを開くには：

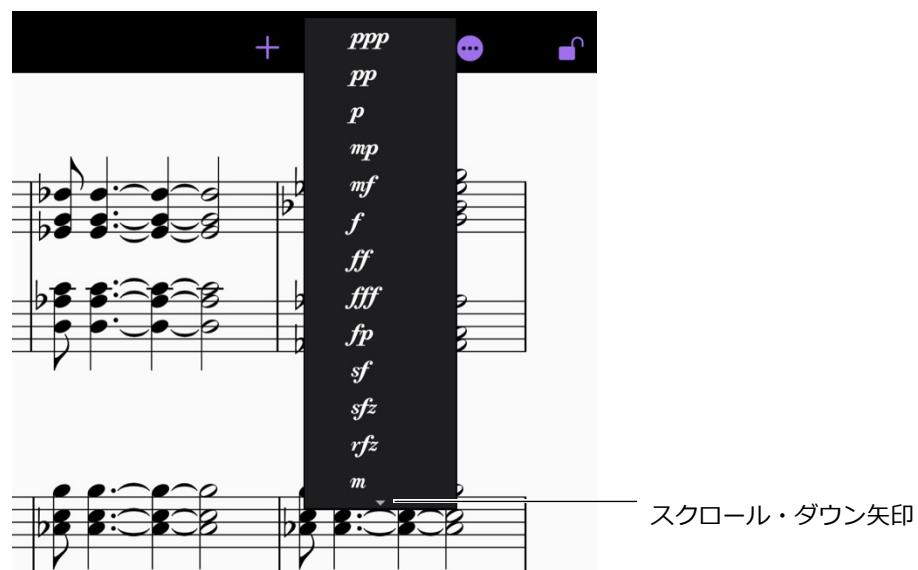
- 1 次のいずれかを行います。
 - 選択を行い、テキストギャラリーからテキスト・オブジェクトを追加します。
 - 編集したい既存のテキスト・オブジェクトをダブルタップします。

2 画面上に表示されたキーボードの右上隅にある *mf* マークの [単語メニュー] アイコンをタップします。



3 単語メニューをスクロールするには、次のいずれかを行います。

- ・単語メニューアイコンを長押ししたまま、目的のアイテムが表示されるまで上下にドラッグします。
- ・単語メニューの上部または下部にあるスクロール・ダウン矢印にカーソルを合わせます。



単語メニュー、ダイナミクス

4 単語メニュー内で入力したいオプションをタップします。

ワイルドカード

Sibeliusでは、スコア上でワイルドカード・テキストを定義できます。ワイルドカードは、スコア全体で一般的なスコア情報（\\$TITLE\や\\$COMPOSER\など）を呼び出して使用する簡単な方法です。すべてのワイルドカードは、テキスト・オブジェクトのワード・メニューから選択でき、スコア上の任意の場所に割り当てることができます。

スコアにワイルドカードを設定するには：

- 1 テキスト・オブジェクトを追加します。
- 2 2本の指でタップして、メニューから任意のワイルドカード（\\$TITLE\など）を選択します。
- 3 必要に応じてワイルドカードを編集します（\\$TITLE=Bright Sunny Day\など）。
- 4 テキスト編集モードを終了すると、スコアのタイトルが変更され、「Bright Sunny Day」と表示されます。

以降、スコアで\\$TITLE\を使用すると、「Bright Sunny Day」と表示されます。

テキスト・オブジェクトを再度編集すると、ワイルドカードを新しいものとして編集できます（たとえば、\\$Title=In the dark\」）。これを変更すると、スコア全体で全ての>Titleワイルドカードが更新されます。

テキスト・オブジェクト内に「backstage」と定義すると、backstage（ファイル情報）で該当するフィールドにもその定義された情報が設定されますが、これらの変更は、MacまたはWindowsのSibeliusでファイルを開いたときにのみ表示されます（Sibelius for mobileには[ファイル情報]ページがないため）。

テキスト編集用のトラックパッド・モード

テキストを編集する際、オンスクリーン・キーボードのスペースバーを「長押し」することで、トラックパッド・モードに入ることができます。これにより、トラックパッドを使用しているかのように、テキスト・フィールド内で移動できます。オンスクリーン・キーボードが空白になったら、画面上で指をドラッグして、テキスト編集カーソルをテキスト・オブジェクト・フィールド内の任意の場所に移動させて編集できます。

楽器ギャラリー

【楽器】タブには、ほぼすべての楽器ギャラリーがあります。楽器ギャラリーを使用すると、スコアに楽器を追加したり変更したりできます。譜表の楽器を変更する場合は、譜表全体の楽器を変更するか、1つの譜表上で選択したパッセージに楽器の変更を加えることができます（たとえば、1人の演奏者がオーボエやホルンなどの複数の楽器を演奏する場合）。



楽器ギャラリー

スコアに新しい楽器を追加するには：

- 1 [+] アイコンをタップして【作成メニュー】を開きます。（楽器をスコアに追加するために選択する必要はありません。）
- 2 【楽器】タブをタップします。
- 3 追加したい楽器を選択し、タップします。
- 4 【新しい楽器をスコアに追加する】ボタンをタップします。

新しい楽器は、標準のスコア順にスコアに追加されます。

選択した譜表の楽器を変更するには：

- 1 変更したい楽器の譜表全体を選択します。
- 2 [+] アイコンをタップして【作成メニュー】を開きます。
- 3 【楽器】タブをタップします。
- 4 追加したい楽器を選択し、タップします。
- 5 【楽器を変更する】ボタンをタップします。

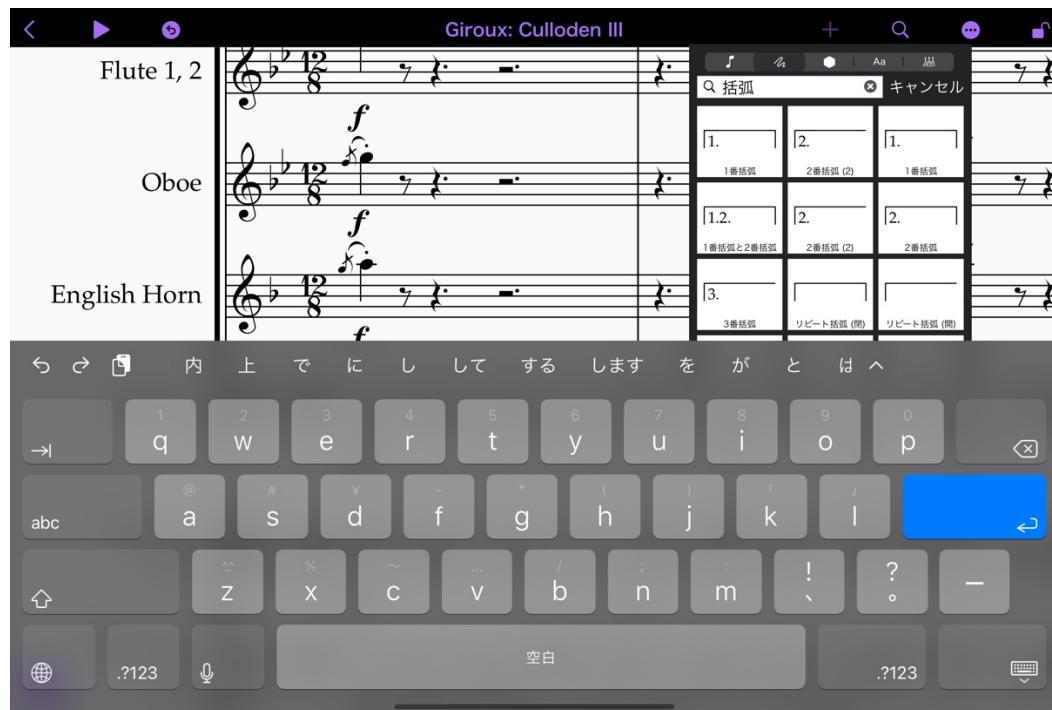
1つの譜表内で楽器を切り替えるには：

- 1 楽器を変更したいパッセージを譜表上で選択します。
- 2 [+] アイコンをタップして【作成メニュー】を開きます。
- 3 【楽器】タブをタップします。
- 4 追加したい楽器を選択し、タップします。
- 5 【楽器を変更する】ボタンをタップします。

楽器の変更は選択されたパッセージのみに適用され、元の楽器は選択範囲の前後に維持されます。さらに、各機器が変更される場所に、楽器の変更を示すテキストが追加されます。

ギャラリーの検索

表記を除くすべてのギャラリーでは、名称でオブジェクトを検索できます。押しながら左（または右）にスワイプすると、線、オブジェクト、テキスト、および楽器のギャラリーのサブカテゴリに移動します。



記号ギャラリーで括弧を検索

コマンド検索

コマンド検索を使用すると、スコア内の任意の選択に対してSibeliusコマンドを検索して実行できます。

Sibeliusのバージョンに応じて、サポートされていないコマンドはグレー表示されます。現在iPadでサポートされていないコマンドは表示されません。

コマンド検索を使用するには：

- 1 コマンドを使用したい範囲またはオブジェクトをスコア上で選択します。
- 2 [コマンド検索] アイコンをタップします。



コマンド検索、外観カテゴリ

- 3 次のいずれかを行います：

- [コマンド検索] フィールドをタップします。画面上のキーボードまたは外部キーボードを使用して、必要なコマンドの名前を入力します。入力すると、一致するコマンドのリストが表示されます。
- カテゴリ別にリストされたコマンドを検索します。左または右にスワイプしてカテゴリをナビゲートします。上または下にスワイプして、カテゴリ内のコマンドのリストをナビゲートします。

- 4 リスト内から必要なコマンドをタップします。

- 5 選択したコマンドに関連する手順を続行します。

移調

Sibelius for mobileでは、選択したオブジェクト、選択範囲、またはスコア全体をキーまたは音程ごとに移調することができます。Sibelius ArtistとSibelius Ultimateでは、コンサートピッチと移調スコアの切り替えも可能です。

キー（ハ長調やイ短調など）を設定して作成されたスコアを移調する場合、スコア内のすべての調号はキーに応じて更新されます。無調/調号なしで作成されたスコアの場合、調号は追加されません。

システム譜表を含む選択範囲（紫色）を移調する場合、それに応じて新しい調号が選択範囲内に適用されます。システム譜表を含まないオブジェクトと範囲の選択（青色）では、音符は移調されますが、調号は追加（変更）されません。

スコア全体を移調するには：

- 1 Avidマスター・アカウントにログインします。
- 2 移調したいスコアを開きます。
- 3 スコアで何も選択されていないことを確認します。
- 4 [詳細]メニューをタップします。
- 5 [移調]をタップします。



[詳細]メニュー内の[移調]コマンド

- 6 [移調]メニュー内では、次の操作が行えます：

- ・ 移調スコア：コンサートピッチと移調スコアの切り替え（Sibelius ArtistとSibelius Ultimateのみ）
- ・ 移調：[キー]をタップしてキーごとにスコアを移調、[音程]をタップして音程ごとにスコアを移調
- ・ 上下矢印：上にスワイプして上に移調、下にスワイプして下に移調
- ・ 音符名または音程名：上下にスワイプして移調したいキーまたは音程を選択



[移調]メニュー

- [スコアを移調]をタップします。

スコア内の選択範囲を移調するには：

- 1 移調したいオブジェクトまたは範囲を選択します。
- 2 [詳細]メニューをタップします。
- 3 [移調]をタップします。
- 4 [移調]メニュー内でオプションを設定します。



選択したオブジェクト（音符）を完全4度上に移調

- 5 [選択範囲を移調]をタップします。

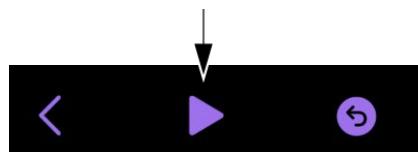
スコアの再生

Sibelius for mobileアプリでは、Sibelius Sounds モバイル版のサウンド・ライブラリを使用してスコアを再生できます。これらのサウンド・ライブラリはSibelius for mobileアプリとともにインストールされ、約900MBのローカル・ストレージを必要とします。

再生時に、スコア内の楽器に応じてサウンドが自動的に選択されます。Sibelius for mobileは、すべての強弱記号とアーティキュレーションを再生し、すべての速度記号 ($\text{J}=120$ 、 rit ...など) や反復記号 (D.C. al Codaなど) に従います。

開いているスコアを再生するには：

- 再生ボタンをタップします。
- 外部キーボードを使用して、スペースバーを押します。



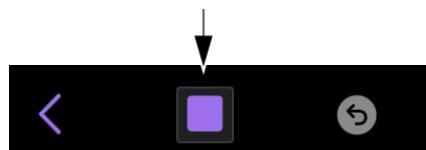
再生ボタン

楽譜上で何も選択していない場合、楽譜の最初から全楽譜の再生が始まります。1つ以上のオブジェクトが選択されている場合、フルスコアの再生は最初に選択されたオブジェクトから始まります。

パッセージ選択がある場合は、選択範囲の先頭から再生が始まり、選択内の楽器のみが再生されます。選択していない楽器はミュートされます。再生は選択範囲の最初から始まりますが、選択範囲の終わりを過ぎても続くことに注意してください。

再生を停止するには：

- 停止ボタンをタップします。
- 外部キーボードを使用して、スペースバーを押します。



停止ボタン

再生ライン

再生ラインは、再生されている場所をスコア上で表す緑色の縦線です。選択することにより、再生ラインの位置を設定できます。

A musical score for two staves. The top staff is in 2/4 time with a key signature of one flat. The bottom staff is in 2/4 time with a key signature of one flat. A green vertical line, representing the play position, starts at the beginning of the first measure and extends down to the end of the second measure. An arrow points downwards from the start of the green line. The tempo is marked as = 42.

再生ライン

再生中、再生ラインはスコアの拍に従ってスコア上で移動します。

A musical score for two staves. The top staff is in 2/4 time with a key signature of one flat. The bottom staff is in 2/4 time with a key signature of one flat. The play position is indicated by a green vertical line that moves from the end of the first measure to the beginning of the second measure, then to the end of the second measure, and finally to the beginning of the third measure. An arrow points downwards from the start of the green line in each measure. Measure numbers 1, 2, and 3 are shown above the staff.

再生中に進む再生ライン

コメント

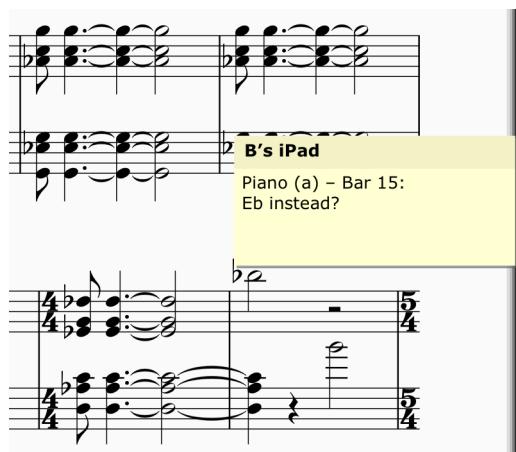
Sibelius for mobileアプリでは、コメントを表示、追加、編集できます。コメントには、「付箋」コメントと「テキスト」コメントの2種類があります。コメントは、リマインダーとして、または教師、生徒、アレンジャー、編集者など、共同作業を行う人々とコミュニケーションをとるための便利な方法として役立ちます。

スコアがロックされると、コメントは非表示になります。コメントを表示、追加、または編集するには、スコアのロックが解除されていることを確認してください。

「付箋」コメント

コメントは、スコアに追加できる「付箋」のようなものです。付箋コメントにはメタデータ（ヘッダに書かれたiPadまたはiPhoneの名前、および選択範囲内に含まれるすべての楽器名とすべての小節番号）が含まれています。最初に選択せずに付箋コメントを追加することもできます。

楽譜を複数のユーザー間で共有してレビューやコメントをする場合、Sibelius for mobileはユーザーごとにスコアに追加されたコメントの色を自動的に割り当てる、誰がそのコメントを追加したのかを一目で確認できます。iPadまたはiPhoneではコメントの色を変更することはできません。



付箋コメント

選択範囲に付箋コメントを追加するには：

- 1 追加したい場所を選択します。
- 2 [コマンド検索] アイコンをタップします。
- 3 [コマンド検索] フィールドに「コメント」と入力します。
- 4 リストの一番上に表示される「コメント」をタップすると、付箋コメントが選択した場所に追加されます。

5 付箋コメントに必要なテキストを入力します。

コメントは、自動的に選択範囲の譜表上部に表示され、コメントのテキストには、選択した譜表と小節番号が表示されます。

※注：【コマンド検索】フィールドで「コメント」と検索すると、「コメント」と「コメント(Style)」の2つがリストに表示されます。「コメント」は、付箋コメントの追加機能を指し、「コメント(Style)」はスコア上に直接コメントを書き込む機能（ダイナミクス、速度記号などを含む）を指します。

選択せずに付箋コメントを追加するには：

- 1 【コマンド検索】アイコンをタップします。
- 2 【コマンド検索】フィールドに「コメント」と入力します。
- 3 リストの一番上に表示される「コメント」をタップします。
- 4 付箋コメントを追加したい場所をタップすると、その場所に付箋コメントが追加されます。
- 5 付箋コメントに表示したいテキストを入力します。

付箋コメントを編集するには：

- 1 付箋コメントのヘッダ以外の部分をダブルタップします。
- 2 必要に応じて付箋コメントを編集します。

付箋コメントを最小化または最大化するには：

- 付箋コメントのヘッダをダブルタップします。

ページ上の付箋コメントを移動するには：

- 1 付箋コメントをタップして選択します。
- 2 付箋コメントを長押しして、ページ上の新しい場所にドラッグします。

付箋コメントを削除するには：

- 1 付箋コメントをタップして選択します。
- 2 キーパッド・ウィンドウ上の【削除】アイコン、もしくはメニューバー（画面を3本指でタッチして表示）上の【切り取り（はさみマーク）】アイコンをタップします。

テキスト（スタイル）・コメント

Sibelius for mobileアプリでは、他のテキストと同じようにスコアに表示されるテキスト・コメントを追加するともできます（「付箋」コメントとは別のです）。

選択範囲にテキスト・コメントを追加するには：

- 1 追加したい場所を選択します。
- 2 [コマンド検索] アイコンをタップします。
- 3 [コマンド検索] フィールドに「コメント」と入力します。
- 4 リスト上の「コメント(Style)」をタップすると、テキスト入力カーソルが選択範囲に表示されます。
- 5 コメントに必要なテキストを入力します。



テキスト・コメント

ドキュメントの設定とプリント

スコアのプリント

Sibelius for mobileアプリは、iOSプリンタ・オプションを使用してスコアをプリントします。

スコアをプリントするには：

- 1 スコアビューで、[詳細]メニューをタップし、[印刷]をタップします。
- 2 [プリントオプション] ウィンドウで、プリンタを選択し、必要に応じて使用可能なプリントオプションを設定します。
- 3 ウィンドウ右上の[プリント]をタップします。

※注：デスクトップ用Sibelius、Sibelius for mobileでは「印刷」と表示され、iPadまたはiPhoneの機能では「プリント」と表示されますが、両方とも同じ機能を指します。

PDFにエクスポート

プリント・プレビューを使用して、Sibelius for mobileアプリからスコアをPDFにエクスポートできます。

スコアをPDFとしてエクスポートするには：

- 1 スコアを開きます。
- 2 スコアビューで、[詳細]メニューをタップし、[印刷]をタップします。
- 3 プリント・プレビュー・ページの画面を1本の指で長押しするとスコアが小さく表示され、そのスコアをもう一度タップします。
- 4 表示されたPDFプレビューで、画面の右上にある[送信]アイコンをタップします。
- 5 [送信]メニューで[Acrobatに読み込み]をタップします。

※注：AcrobatアプリはiPadまたはiPhoneデフォルト・アプリではありません。App Storeから無料でインストールできます。



送信メニュー

6 Adobe Acrobatウィンドウで、[Acrobatに読み込み] をタップします。



Acrobatに読み込み

ドキュメントの設定

Sibelius for mobileアプリでは、スコアのページの向き、ページのサイズ、ページの余白、譜表のサイズを設定できます。

開いているスコアのドキュメント設定をするには：

- 1 スコアビューで、[詳細]メニューをタップし、[ドキュメントの設定]をタップします。
- 2 ページの向きを設定するには、[縦置き]または[横置き]をタップします。
- 3 ページのサイズを設定するには、[Letter (レター)]、[A4]、[Concert 9x12" (コンサート)]、または[カスタムサイズ]をタップします。



- 4 [詳細]メニュー、もしくはスコア上の任意の場所をタップして、スコアビューに戻ります。

カスタムページサイズを設定するには：

1 スコアビューで、 [詳細] メニューをタップし、 [ドキュメントの設定] をタップします。

2 [カスタムサイズ] をタップします。



3 カスタムページサイズの測定単位を設定するには、 [インチ] 、 [ミリ] 、または [ポイント] をタップします。

4 [幅] フィールドをタップし、画面上のテンキーを使用してページ幅を入力します。

5 [高さ] フィールドをタップし、画面上のテンキーを使用してページの高さを入力します。

6 [完了] をタップして、カスタム・サイズ設定を保存し、ドキュメント設定に戻ります。もしくは、 [キャンセル] をタップして、カスタム・サイズ設定への変更を保存せずにドキュメント設定に戻ります。

7 [詳細] メニュー、もしくはスコア上の任意の場所をタップして、スコアビューに戻ります。

開いているスコアのページの余白と譜表のサイズを設定するには：

- 1 スコアビューで、[詳細] メニューをタップし、[ドキュメントの設定] をタップします。
- 2 ページの余白と譜表のサイズの設定を表示するには、[余白と譜表オプション] をタップします。



- 3 ページの余白と譜表のサイズの測定単位を設定するには、[インチ]、[ミリ]、または [ポイント] をタップします。
- 4 各ページ余白フィールド（左右上下）をタップし、画面上のテンキーを使用して、それぞれに必要な値を入力します。
- 5 [譜表サイズ] フィールドをタップし、画面上のテンキーを使用して必要な値を入力します。
- 6 [完了] をタップして、ページの余白と譜表のサイズ設定を保存し、ドキュメント設定に戻ります。もしくは、[キャンセル] をタップして、ページの余白と譜表のサイズ設定への変更を保存せずにドキュメント設定に戻ります。
- 7 [詳細] メニュー、もしくはスコア上の任意の場所をタップして、スコアビューに戻ります。

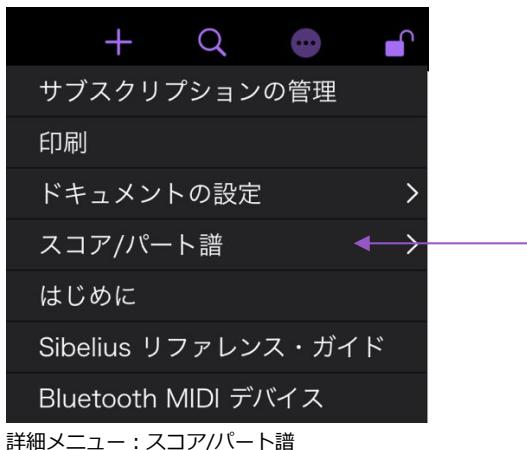
スコアとパート譜

パート譜を表示する (Sibelius ArtistとSibelius Ultimateのみ)

Sibelius for mobileアプリ (Sibelius ArtistとSibelius Ultimateのみ) では、スコアのパート譜をそれぞれ表示、編集、および印刷できます。Sibelius Ultimateでは、ダイナミック・パートが利用できるため、音符、リズム、アーティキュレーションなど、任意のパート譜上での変更点はすべてスコアに反映されます。同様に、スコア上での変更点は、パート譜にも反映されます。ただし、テキスト・オブジェクトの位置や臨時記号のスペルなどの特定の変更は、パート譜上でのみ変更され、スコアには反映されないことに注意してください (Sibelius Ultimateのみ)。これにより、スコアから独立して、演奏者に最適なレイアウトのパート譜を作成できます。

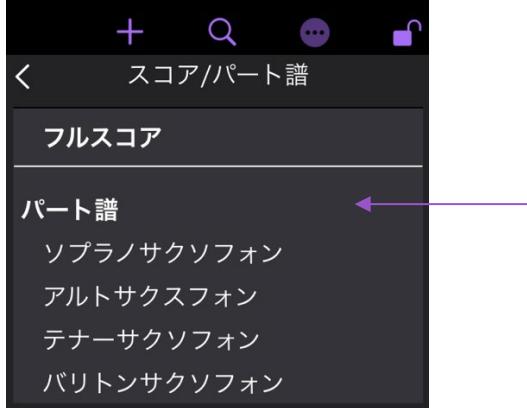
編集または印刷するためにパート譜を表示するには：

1. スコアビューで、[詳細]メニューをタップし、[スコア/パート譜]をタップします。



詳細メニュー：スコア/パート譜

2. 表示したいパート譜の名前をタップします。フルスコアの表示に戻るには、[フルスコア]をタップします。



スコア/パート譜メニュー：フルスコアとパート譜のオプション

3. スコアビューに戻り、編集または印刷用に選択したパート譜のみが表示されます。

パート譜を表示している時に[詳細]メニューから[印刷]を選択すると、そのパート譜のみが印刷されます。

スコアとパート譜を切り替える (Sibelius ArtistとSibelius Ultimateのみ)

[詳細]メニューからスコアとパート譜を切り替える方法に加えて、タッチ・ジェスチャまたはキーボード・ショートカットを使用して切り替えることもできます。

スコアとパート譜を切り替えるには：

- スコア上部のタイトルの部分を長押しし、左または右にドラッグして、フルスコアとパート譜を順番に表示します。フルスコアは常に一番左にあり、パート譜は右側にドラッグしてスコア順（上から下）で表示されます。



外部キーボードを使用している場合は、Wを押して、フルスコアと、スコアの最初のパート譜または最後に表示されたパート譜のいずれかを切り替えます。Command + Option + ‘（アクセント）で次のパート譜を表示するか、Command + Option + Shift + ‘（アクセント）で前のパート譜を表示します。

バージョンの比較

この表は、macOSとWindows上のSibeliusとiPadまたはiPhoneのSibelius for mobileアプリの両方の3つのバージョン（Sibelius First、Sibelius ArtistおよびSibelius Ultimate）間の機能の違いを記しています。現在iPadまたはiPhoneで利用できない機能は太字で記されています。

Sibelius First Sibeliusソフトウェアを操作するための優れた入門版。スコア内で最大4つの譜表を作成でき、基本的な記譜法のほとんどに対応しています。より高度な機能が必要な場合は、Avidマスター・アカウントからいつでもSibelius ArtistまたはSibelius Ultimateにアップグレードできます。

Sibelius Artist 学生や熟練したアマチュアに最適です。最大16の譜表を作成でき、中程度の複雑さのスコアや、プロフェッショナル並みのスコアを作成するために必要なすべてのツールを使用できます。

Sibelius Ultimate 専門家や教育者にとっての必需品です。スコアに譜表を必要なだけ作成でき、広範囲にカスタマイズできるため、最も複雑なスコアでも完璧に作成することができます。

一般	Sibelius First	Sibelius Artist	Sibelius Ultimate
用途...	最大4個のインストゥルメント・パート(譜表)からなるシンプルな楽曲を作成可能	最大で16個までの譜表を使った、シンプル/中程度の複雑性を持つ作曲向け	あらゆる規模や複雑性を持つ楽譜やパート譜の作曲、編曲、出版、教育向け楽譜ワークシートやエクササイズの作成
入手形態	無料でダウンロードしてご利用いただけます。	デスクトップ: サブスクリプション・ライセンス(月額/年額)または永続ライセンスを購入 モバイル: デスクトップ版に含まれています。あるいは、アプリだけを毎月サブスクリプション可能です。	デスクトップ: サブスクリプション登録(月額または年額)、永続ライセンスの購入(教育機関向け特別価格あり)、他の記譜ソフトウェアからの乗り換え、またはネットワーク・ライセンスの入手 モバイル: デスクトップ版に含まれています。あるいは、アプリだけを毎月サブスクリプション可能です。
インストールできるコンピューター数	該当無し	2台、ただし1人のみが使用できます。(例:デスクトップでコピーを使用し、ラップトップまたはサーフェスで別のコピーを実行できます)。 これに加えてiPadアプリを利用することができます。	

一般	Sibelius First	Sibelius Artist	Sibelius Ultimate
ソフトウェアのアップデートとサポート	最新のアップデートを随時ダウンロードできます。	デスクトップ: サブスクリプションに登録、もしくは、更新可能な1年間のソフトウェア・アップデート+サポート・プラン(新規永続ライセンスに付属)で、すべての新規リリースと標準サポートを利用することができます。 モバイル: 最新のアップデートを随時ダウンロードできます。Avidマスター・アカウントを利用してiPadで機能のロックを解除できます。	
AudioScore と PhotoScore (iPad/iPhoneでは利用不可)	AudioScore First と PhotoScore Firstが含まれます。	AudioScore Lite と PhotoScore Liteが含まれます。	

表記	Sibelius First	Sibelius Artist	Sibelius Ultimate
臨時記号	通常記号および二重臨時記号のみ	通常記号および二重臨時記号、括弧付きのみ	通常記号および二重臨時記号、四分音、括弧付き
メタデータ (iPad/iPhoneでは利用不可)	一般的なもののみ		すべて
小節数	制限あり		制限なし
小節線の種類	標準、ダブル、リピートのみ		標準、ダブル、リピート、破線、譜表間
不規則な小節	なし	なし、弱起小節を除く	可能
譜表をまたぐ連桁 (鍵盤楽器)	なし		可能 (iPad/iPhoneでは利用不可)
連桁・休符のグループ化	固定		カスタマイズ可能
中括弧と大括弧	固定		カスタマイズ可能
移調楽器の移調の変更	なし		可能
コード記号の外観とMIDI/テキストの入力	制限つきのプリセット・オプション		完全にカスタマイズ可能
キュー	なし		可能
付点、複付点、三重付点	付点のみ	可能	
ギター・コード表	制限あり		可能
ギター・スケール表	なし		可能
ギター・タブ	標準のもののみ		すべて
楽器	一般的な楽器のみ	デスクトップ: 一般、ジャズ、民族楽器、譜表数の制限あり モバイル: 一般的な楽器のみ	デスクトップ: 完全にカスタマイズ可能 モバイル: 一般的な楽器のみ
ジャズ・アーティキュレーション: フォール、スクープ、ドイト、プロップ	なし	可能	

表記	Sibelius First	Sibelius Artist	Sibelius Ultimate
カスタム・ライン	なし		可能
音価 : 512音符（7連桁）から ダブル・ブレーヴエ（全音符の4倍）	32分音符から2全音符	すべて	
符頭のカスタム	なし		可能
オッシア譜表	なし		可能
ページ数	自動		カスタマイズ可能
特別な記号	なし		可能
マルチレストを分割	なし		可能
譜表	最大4譜表	システムごとに最大16譜表	制限なし
ステムレット（短い符尾）と 扇形連桁	なし		可能
3連符	2連符(2:3)から6連符(6:4)	2連符(2:3)から9連符(9:8)	すべて（2連符、7連符、44:31など）
再生	Sibelius First	Sibelius Artist	Sibelius Ultimate
高度な表記解釈	なし		可能
MIDIデータの編集 (iPad/iPhoneでは利用不可)	なし		可能
Sibeliusサウンド・ライブラリを含む (iPad/iPhoneでは全てのバージョンに900MBのサウンド・ライブラリが含まれます)	なし	Sibeliusサウンド（10GBライブラリ）：ほとんどの一般的な楽器の高品質サンプル	Sibelius Ultimateサウンド（36GBライブラリ）：オーケストラ、ジャズ、ポップス、マーチングバンド、パーカッション用のプロフェッショナル品質
ループ再生 (iPad/iPhoneでは利用不可)	なし		可能
半分の速度で再生 (iPad/iPhoneでは利用不可)	なし		可能
Espressivo 2.0 (iPad/iPhoneでは利用不可)	なし	プリセットのみ	リズミックフィールをカスタマイズ可能
ライブテンポ（タップテンポ） (iPad/iPhoneでは利用不可)	制限あり		Live Tempoで録音、編集、クリア、再生
指定したリピート記号に 応じた再生 (iPad/iPhoneでは利用不可)	なし		可能

再生	Sibelius First	Sibelius Artist	Sibelius Ultimate
ヘアピンの再生	固定		調節可能 (iPad/iPhoneでは固定)
リタルダントと アッヂエレランドの再生	固定		調節可能 (iPad/iPhoneでは固定)
フェルマータの再生	固定		調節可能 (iPad/iPhoneでは固定)
再生に反映する用語 (legato など)	固定		編集可能 (iPad/iPhoneでは固定)

ユーティリティ	Sibelius First	Sibelius Artist	Sibelius Ultimate
注釈 (iPad/iPhoneでは利用不可)	可能		
アレンジ：自動的にアレンジや オーケストレーション (iPad/iPhoneでは利用不可)	なし		可能
付箋コメント	可能		
異なるスコアやバージョンを 比較 (iPad/iPhoneでは利用不可)	なし		可能
Wordやその他のプログラムに コピー/貼り付け	なし	低解像度(96 dpi)のみ (iPad/iPhoneではテキストのみ)	可能 (iPad/iPhoneではテキストのみ)
タイムコードの表示 (iPad/iPhoneでは利用不可)	なし	1つのフォーマット	カスタマイズ可能なフォーマット
ダイナミック・パートの編集	なし	制限あり	すべて
用語メニュー (iPad/iPhoneでは利用不可)	なし		可能
スコア上での変更のログを エクスポート (iPad/iPhoneでは利用不可)	なし		可能
テキスト・ファイルとして歌詞を エクスポート (iPad/iPhoneでは利用不可)	なし	可能	
同様のオブジェクトを編 集するフィルター (iPad/iPhoneでは利用不可)	なし	クイック・フィルターのみ	可能

ユーティリティ	Sibelius First	Sibelius Artist	Sibelius Ultimate
検索 (iPad/iPhoneでは利用不可)	なし		可能
譜表にフォーカス	なし		可能
グラフィックのエクスポート (ワークシートやその他のコンテンツの作成用) (iPad/iPhoneでは利用不可)	なし		可能
スコアのハイライト (iPad/iPhoneでは利用不可)	可能		
アイデア・ハブ (iPad/iPhoneでは利用不可)	なし	300個のライブラリ・アイデアが含まれており、独自のアイデアを取り込めます（編集はサポートされていません）	2,000個以上のライブラリ・アイデアが含まれており、独自のアイデアを取り込んで編集し、スコアやライブラリに追加できます
MusicXMLファイルをインポート (iPad/iPhoneでは利用不可)	可能		
楽器の変更	なし		可能
スコアを組み合わせる (iPad/iPhoneでは利用不可)	なし		可能
キーボード・ショートカット	固定		カスタマイズ可能 (iPad/iPhoneでは固定)
挿入できる歌詞数	2	5	制限なし
テキストファイルから歌詞を挿入 (iPad/iPhoneでは利用不可)	なし		可能
音符入力オプション (iPad/iPhoneでは利用不可)	固定	制限あり	すべて
パノラマ・スクロール・ビュー (iPad/iPhoneでは利用不可)	可能		
用紙とデスクのテクスチャー (iPad/iPhoneでは利用不可)	40		60以上
パート譜の抽出	なし		可能
パート譜の抽出 (iPad/iPhoneでは利用不可)	なし		可能
キューとして貼り付け	なし		可能
プラグイン (iPad/iPhoneでは利用不可)	なし	38個含まれます	140個以上含まれます
各オブジェクトを編集するためのインスペクター・ウィンドウ (iPad/iPhoneでは利用不可)	なし		すべて

ユーティリティ	Sibelius First	Sibelius Artist	Sibelius Ultimate
リハーサル・マーク	なし	デフォルトのみ	完全にカスタマイズ可能
リピートの構成	固定	カスタマイズ可能	完全にカスタマイズ可能
ルーラー (iPad/iPhoneでは利用不可)	なし		可能
スコア・スター (40種類) の特定のテンプレート (iPad/iPhoneでは利用不可)	可能		なし
音符と休符のスライド	なし	可能	
特殊な改ページ (iPad/iPhoneでは利用不可)	なし		可能
タイムライン・ウィンドウ (iPad/iPhoneでは利用不可)	なし		可能
声部の交換 (iPad/iPhoneでは利用不可)	なし		可能
バージョン (iPad/iPhoneでは利用不可)	前のバージョンのみ	保存、表示、プリントのみ	可能
ビデオ：タイムコードとヒット・ポイントを含む (iPad/iPhoneでは利用不可)	なし	ビデオを追加、ヒットポイントを追加/編集	可能
表示オプション：マグネットイック・レイアウト、ページの余白、音符の色、フルスクリーンなど (iPad/iPhoneでは利用不可)	なし		可能
ワークシート・クリエータ (iPad/iPhoneでは利用不可)	なし		可能

出版	Sibelius First	Sibelius Artist	Sibelius Ultimate
高度なレイアウト機能 (iPad/iPhoneでは利用不可)	なし		可能
自動レイアウト・オプション (iPad/iPhoneでは利用不可)	なし		可能
フォントの編集 (iPad/iPhoneでは利用不可)	なし	制限あり	すべて
譜表タイプの編集 (iPad/iPhoneでは利用不可)	なし		可能
テキスト・スタイルの編集 (iPad/iPhoneでは利用不可)	なし		可能

出版	Sibelius First	Sibelius Artist	Sibelius Ultimate
記譜ルール (iPad/iPhoneでは利用不可)	なし		可能
ヘッダ/フッタ	なし	可能	
ハウス・スタイル・インポート/エクスポート (iPad/iPhoneでは利用不可)	なし	インポートのみ	可能
インテリジェント休符	なし	可能	
マグネティック・レイアウト	固定		完全にカスタマイズ可能 (iPad/iPhoneでは固定)
ダイナミック・パートの管理	なし		
譜面用紙(プリセット・スコア・レイアウト)	いくつかは含まれますが、独自のスコアは作成できません		多数を含み、独自のスコアを作成できます (iPad/iPhoneでは固定)
複数の譜表サイズ (iPad/iPhoneでは利用不可)	固定		
音符間隔ルール	固定		
オブジェクトの位置/デザインのリセット	制限あり		
デフォルト・オブジェクトの位置設定 (iPad/iPhoneでは利用不可)	なし		
譜表の間隔	固定	手動で調節のみ	可能

エクスポートと共有	Sibelius First	Sibelius Artist	Sibelius Ultimate
オーディオ・レコーディングのエクスポート	該当無し	WAV、AIFF、MP3 (iPad/iPhoneでは利用不可)	
.sibまたは.pdfとしてスコアをメー ルする	なし	可能	
グラフィック・ファイルのエクスポート (iPad/iPhoneでは利用不可)	なし	PDFエクスポートのみ	標準のビットマップおよびベク ター形式(SVG、PNG、JPG、 BMP、TIFF、GIF、PDF)
MIDIファイルのエクスポート：任意のデバイスのType 0 およびType 1 (iPad/iPhoneでは利用不可)	なし	可能	

エクスポートと共有	Sibelius First	Sibelius Artist	Sibelius Ultimate
MusicXML ファイルのエクスポート（圧縮または非圧縮） (iPad/iPhoneでは利用不可)	なし	可能	
前のバージョンのエクスポート (iPad/iPhoneでは利用不可)	なし	可能	
ScoreExchange.comに直接公開 (iPad/iPhoneでは利用不可)	なし	可能	
YouTube、Facebook、SoundCloudで共有 (iPad/iPhoneでは利用不可)	なし	可能	
Sibelius Cloud Sharing (iPad/iPhoneでは利用不可)	10スコア	20スコア	制限なし（最大 1 GBストレージ）
ビデオファイル（スコアをビデオとしてエクスポート） (iPad/iPhoneでは利用不可)	なし	可能	

2022年5月現在



Technical Support (USA) Visit the Online Support Center
www.avid.com/support

Product Information

For company and product information, visit us on the web at
www.avid.com